Enterprise Management Suite 2.0

Light Version 1.1V

目次

I. システム条件 3

II. インストール 4

III.EMS2の実行 6

IV. 機能 7

1. EMS2の概要 7

1. Online / Offline ボタン 7

2. Device 7
3. IP Discovery 13
4. Tree 15
5. EMS 2.0 Log 15
6. New VDVR 16
7. Tree Window 17
8. Main Window 17
9. E-map 18
10. Live 18
11. Health 18

2. EMS2のSetup 22

1. OSD Setup 22
2. Password 22
3. ETC 22
4. Video Standard 23
5. Video Render 23
6. Video Channel 23
7. Download Option. 23
8. Version. 24

3. EMS2 account 24

V. DVR & NVR/IP カメラの制御 27

1. ライブ監視 27

1. 個別の DVR/NVR/IPカメラグループ 27

1) Sequence 27
2) Tab unlock 28
3) Close 28
5) PAN / TILT / ZOOM CONTROL 29
6) Capture 30
7) REC 30
8) Channel Sequence 31
9) Zoom 31
10) メインウィンドウ 32

2. 仮想 DVR 34

1) 仮想 DVRとは 34
2) 仮想 DVR 監視 34
3) デバイスの追加 34
4) Delete Camera 35

2. 再生モード 36

1. Remote Search 36

1) Remote Search 36
2) Remote Download 38

2. Local Search 38

3. DVR Menu Setup 39
4. Context Menu 39

1. Virtual DVR Context menu 39
2. NVR Context menu 40
3. DVR Context menu 40
4. Camera Context menu 41
6. Channel Context menu 42

VI. Post-EVENT ACTION 42

1. DVR/NVR Post-Event Action 42

VII. E-MAP 45

1. 追加 45

2. E-Map Link 49

I. システム条件

EMS2は、表示するDVR, NVR 及びIP カメラの数が増えるほどコンピュータのリソースを多く利用します。 PCは、受信データストリームと、接続されたそれぞれのDVR／NVR／IP カメラからのリアルタイム警告を十分効率的に管理しなければなりません。そのため、PC にはより高い最低条件が必要です。

次の表は EMS2が適切に動作するための「推薦」のシステム仕様を示すものです。

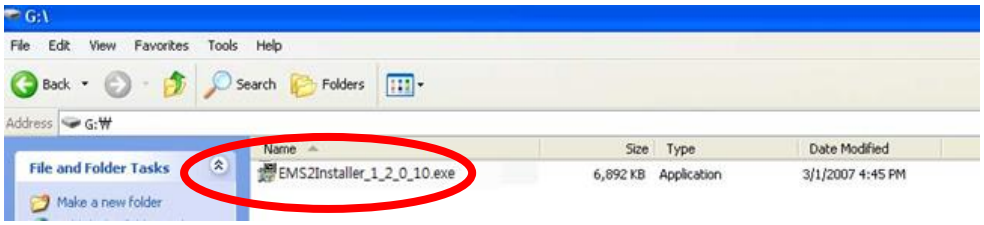
	推薦
OS	Window 7 SP1 以上
CPU	Quad core i5 (空きリソース 95% 以上)
RAM	4G (空き物理メモリー 700M)
Video Card	PCI-E 1G メモリー
Resolution	1600*1200(1920*1080) 2モニター
DirectX	DX 9.0 サポート
Network	Giabit Ethernet LAN
HDD	40Gの空き容量

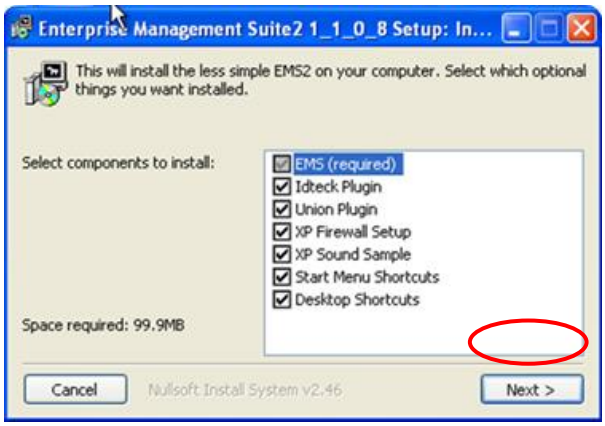
<注意>

DirectX 7.0 または、それ以前のバージョンがインストールされている場合、EMS2が実行できないことがあります。 Microsoft社から最新の DirectXをダウンロードしてください。

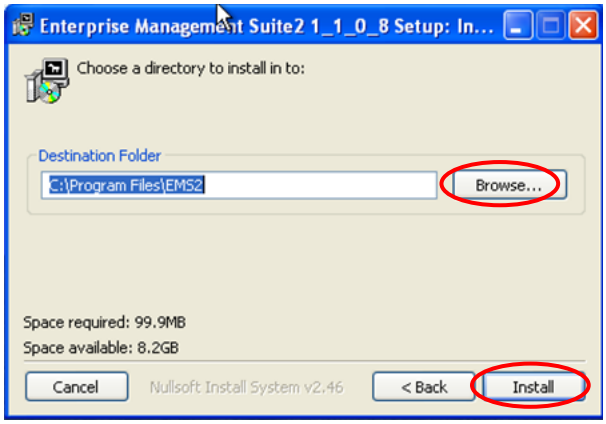
II. インストール

製品に付属しているCD を PCの CD-ROMドライブに挿入し、エクスプローラ等で CD-ROMのルートフォルダを表示し、“EMS2Installer_＊_＊_＊_＊.exe” を実行します。(“＊”はバージョンを示す数字)





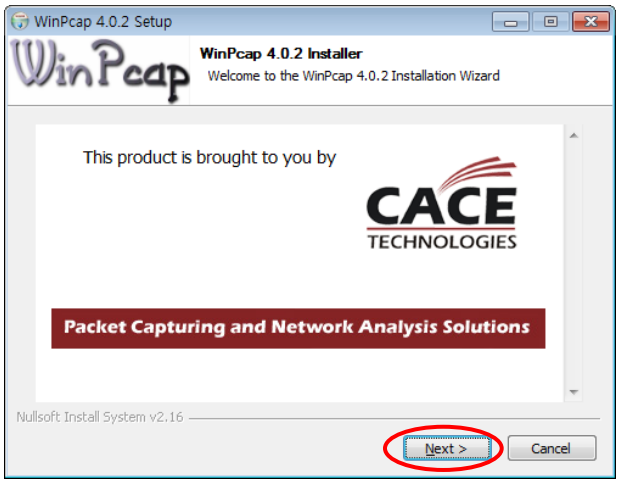
セットアップダイアログが開いたら、インストールオプションを選択し、Next ＞ ボタンをクリックします。



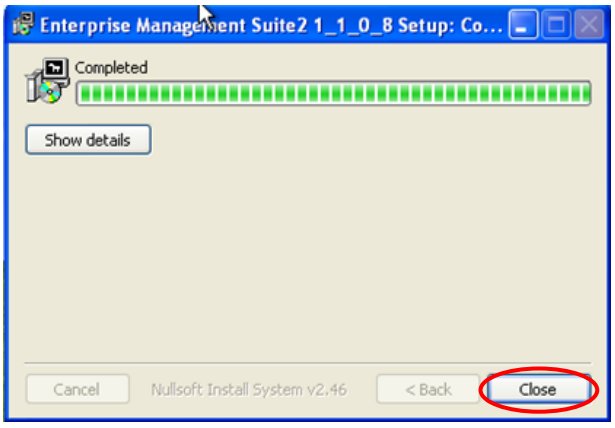
次に、EMS2 をインストールするフォルダを選択します。必要な場合は変更し、インストールをクリックします。

初期設定では“C:¥Program Files¥EMS2”（64 ビット版OS では“C:¥Program Files (x86)¥EMS2”）が選択されます。インストール先が決まったらインストールボタンをクリックします。

インストール中に以下のような別のソフトウエア“WinPcap” のインストールを促されますので、インストールを実行してください。これはIP カメラを利用するために必要なソフトウエアです。



以下のような完了を示すウインドウが表示されたら、Closeボタンをクリックしてインストールを完了します。



III.EMS2の実行

スタートメニューから「全てのプログラム」→「EMS2」→「EMS2」をクリックするかデスクトップ上のアイコンをダブルクリックすると、以 のようなログインウインドウが表示されます。

起動用のID とパスワードの初期設定値は以下のようになります。

ID= admin

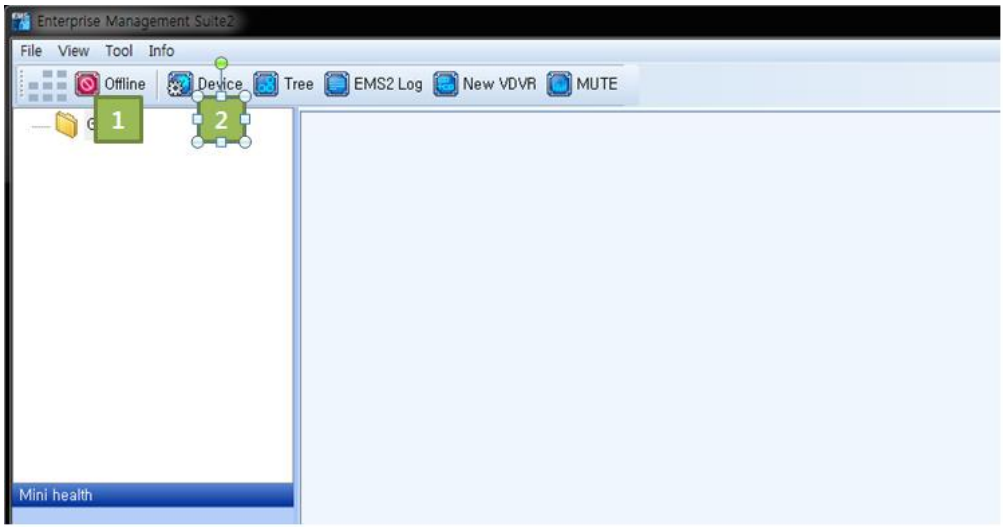
Pass= 0

この画面で起動せずに終了する場合は、マウスで取消をクリックするかキーボードのESC キーを押してください。

起動用のID とパスワードの変更方法は「EMS2 の設定」を参照してください。

IV. 機能

1. EMS2の概要

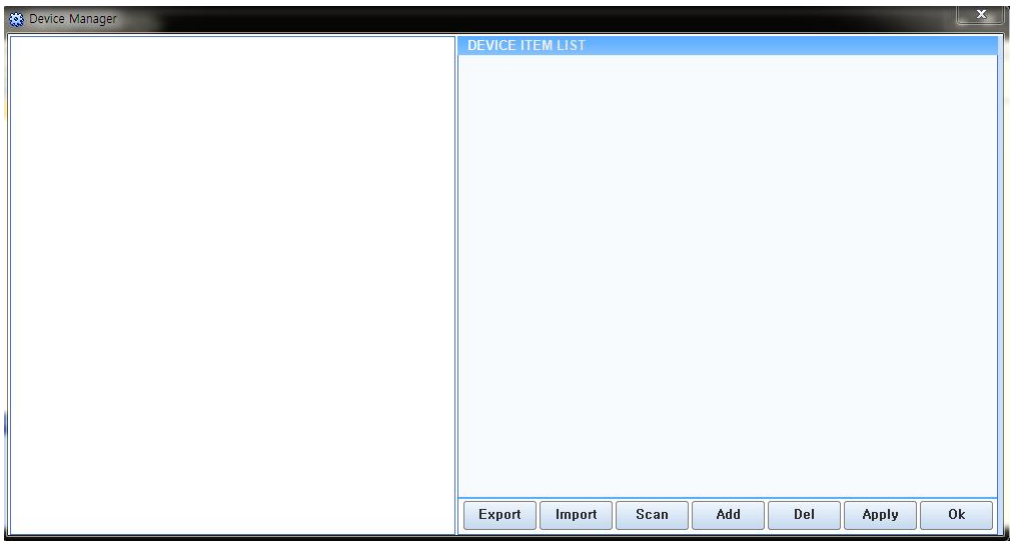


1. Online / Offline ボタン

デバイスマネージャーで「自動接続」がチェックされている全てのデバイスへの接続と切断を交互に切り替えます。

2. Device

デバイスマネージャーを表示します。 デバイスマネージャーでは、デバイス（DVR, NVR, IP カメラ）の追加・削除、デバイス情報のインポート・エクスポート等を行うことが出来ます。



① **Export**: 登録されたデバイスの中から選択されているデバイスの情報を抽出出来ます。

A. 登録情報をエクスポートするデバイスをマウスで選択し、Exportボタンをクリックします。

B. パスワードウインドウがポップアップされたら、EMS2の起動パスワードを入力します。

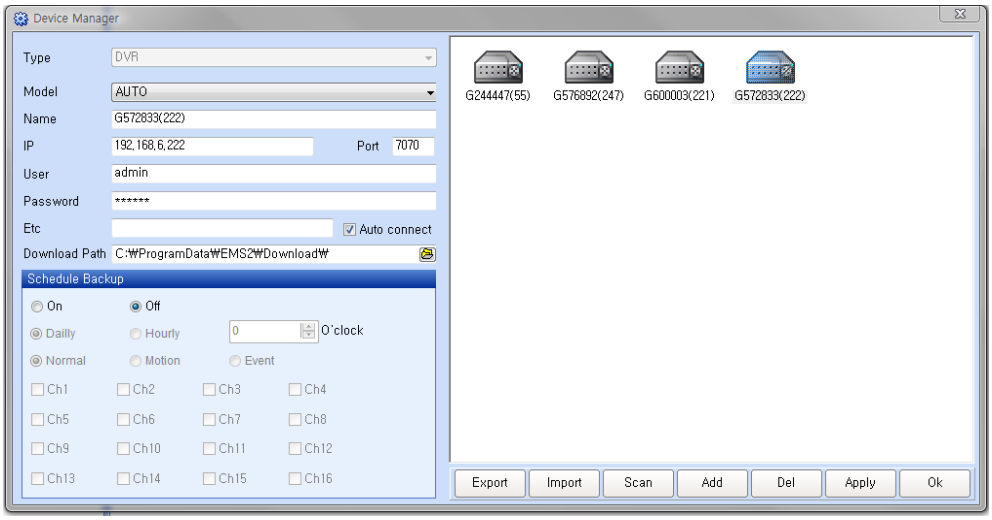
C. ファイルを保存するディレクトリを指定します。

D. 抽出するファイルのファイル名を入力します。（*.exp）

② **Import**: “*.exp” ファイルに保存されたデバイス情報を読み込んで登録情報に反映します。

③ **Scan**: ローカルネットワーク上のデバイスを自動的にスキャンし登録します。既に登録済みのデバイスはスキップします。 検索されたデバイス用のID は“admin” 、パスワードは“000000” が自動的に初期設定されます。

④ **Add**: ネットワーク上のデバイスを登録します。



A. DVR/NVR、IPカメラより適切なデバイスを選択してください。

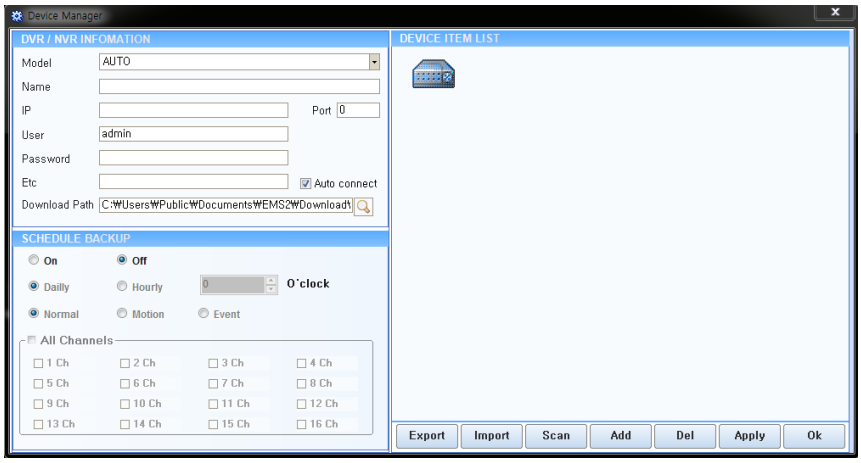
B. デバイスを追加します。

⑤ **Del**: DEVICE ITEM LIST に表示されている登録済みのデバイスから選択されているデバイスを削除します。

⑥ **Apply**: デバイスを追加した場合または“DEVICE ITEM LIST” から選択したデバイスの設定を変更した場合に、その機能を保存し適用します。

⑦ **OK**: デバイスを追加した場合または“DEVICE ITEM LIST” から選択したデバイスの設定を変更した場合に、その状態を保存し適用した後に Device Managerを閉じます。

I) DVR またはNVR の追加



DVR または、NVR の追加は、同一ネットワーク内の場合検索ボタンで自動的に追加できます。異なるネットワークの場合は追加ボタンをクリックし、次の項目を設定します。

1. DVR/NVR INFORMATION

a. Name: 設置場所等を示す分かりやすい名称等を自由につけることが出来ます。

b. IP: IP アドレスまたはDDNS 名を指定します。

c. Port: サービスポート番号を指定します。 工場出荷時には「7000」と設定されています。

d. User : DVR またはNVR にログインするためのユーザー名を指定します。

e. Password : DVR またはNVR にログインするためのパスワードを指定します。

f. Etc: その他の、この装置に関する情報をメモとして自由記述出来ます。

g. Download Path : DVR またはNVR に録画された映像をパソコンにダウンロードする場合のダウンロード先フォルダを指定します。

h. Auto connect : EMS2がオンライン状態の時にこのデバイスに接続する場合にチェックします。

<注意> このチェックを外すと、オンライン状態にしてもこのDVR またはNVRに接続できなくなります。

2. SEHEDULE BACKUP

a. On/Off : 予約バックアップ機能を使用する場合に「ON」を選択します。

b. Daily/Hourly :

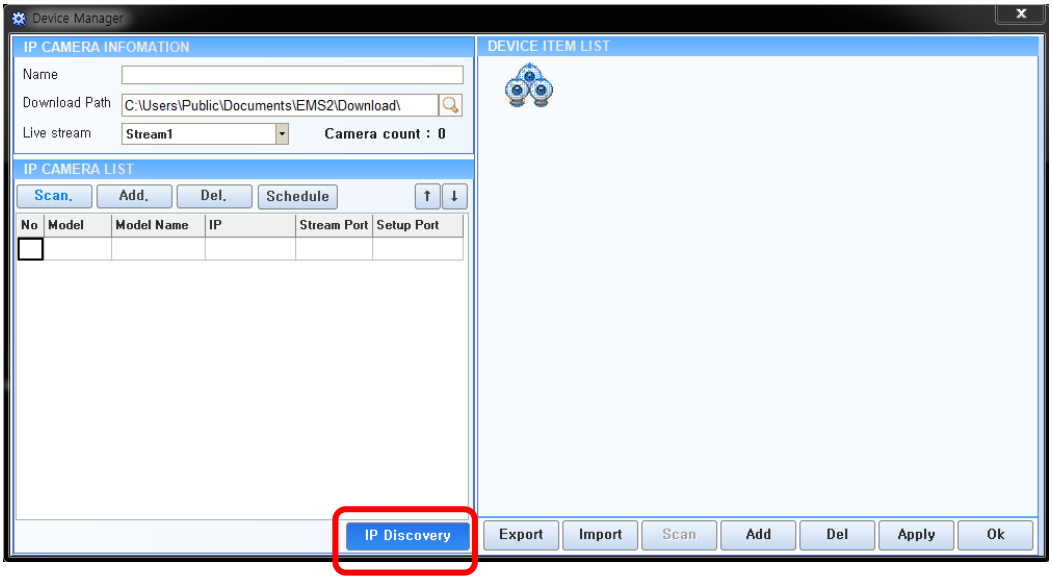
Dailyを選択した場合、1日に1回1日分のダウンロードを実行します。

Houlyを選択した場合、1時間に1回1時間分のダウンロードを実行します。

c. Normal/Motion/Event : ダウンロード対象の録画モードを選択します。

d. Channels : ダウンロード対象のチャンネルを指定します。

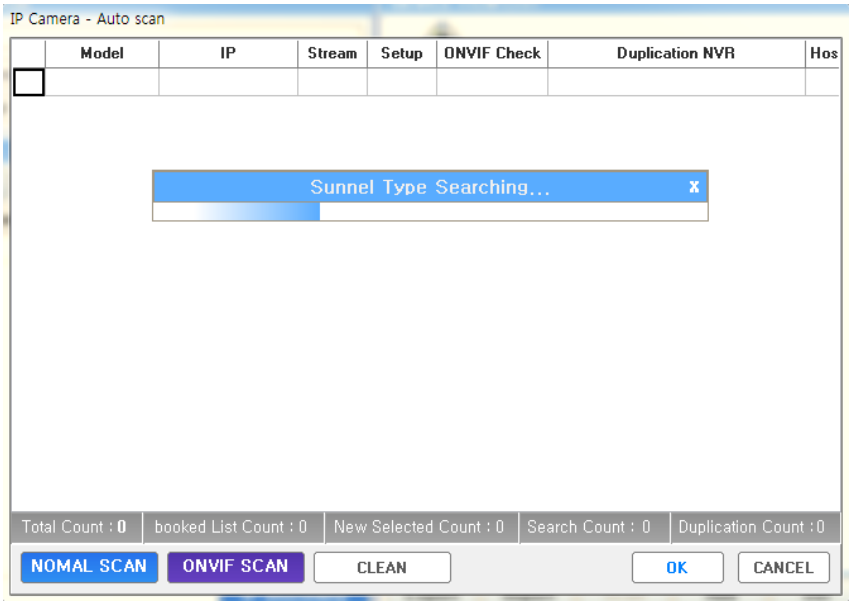
II) IPカメラグループの追加



IPカメラは、複数台をグループ化したIPカメラグループとしてデバイスマネージャーに登録します。

A. Scan ： 同一ネットワーク内のIPカメラを検索するための「IP Camera - Auro scan」ウィンドウを開きます。

「IP Camera - Auro scan」ウィンドウでは、同一ネットワーク内のIPカメラを検索できます。



a. NORMAL SCAN/ONVIF SCAN ： Pinetron社プロトコルを持つカメラを検索しリストに表示する場合は、NORMAL SCANを選択して、ONVIFプロトコルを持つカメラを検索しリストに表示する場合は、ONVIF SCANを選択します。

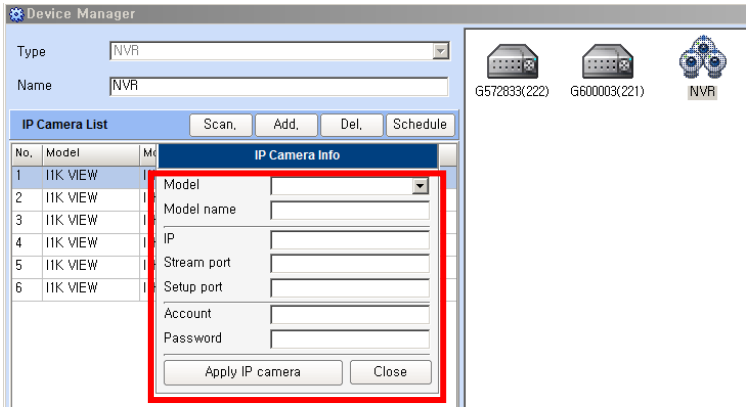
b. CLEAN ： リストを消去します。

c. OK ： リストを保存してウィンドウを閉じます。

d. CANCEL ： リストを保存せずにウィンドウを閉じます。

B. Add ： このグループに IPカメラを追加するための「IP Camera Info」のウィンドウを開きます。

「デバイスマネージャー」から特定のカメラをクリックすると「IP CAMERA INFO」ウィンドウが開きます。



a. Model name: IPカメラの名称を自由に設定できます。

b. IP: IPカメラのIPアドレスを指定します。

c. Stream Port: Pinetron製カメラのストリーム用ポート番号を指定します。

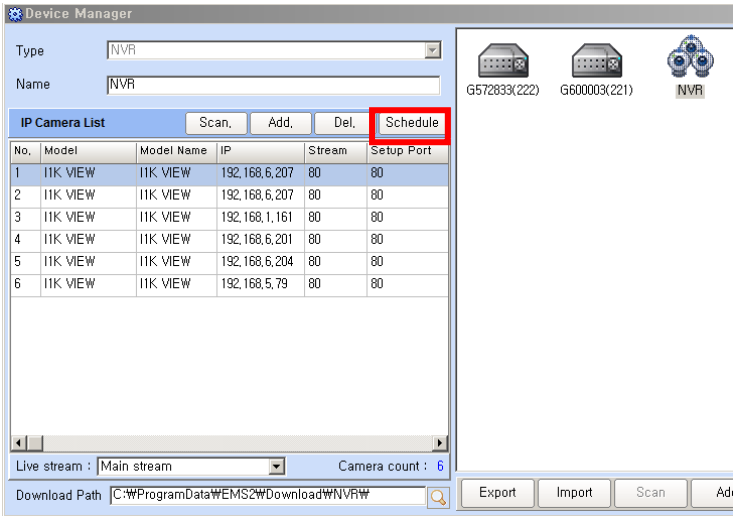
d. Setup Port: Pinetron製カメラの設定用ポート番号を指定します。 (Default 80)

e. Account ： IPカメラにログインするためのユーザ名を指定します。

f. Password ： IPカメラにログインするためのパスワードを指定します。

h. Apply IP camera 設定を適用してウィンドウを閉じます。

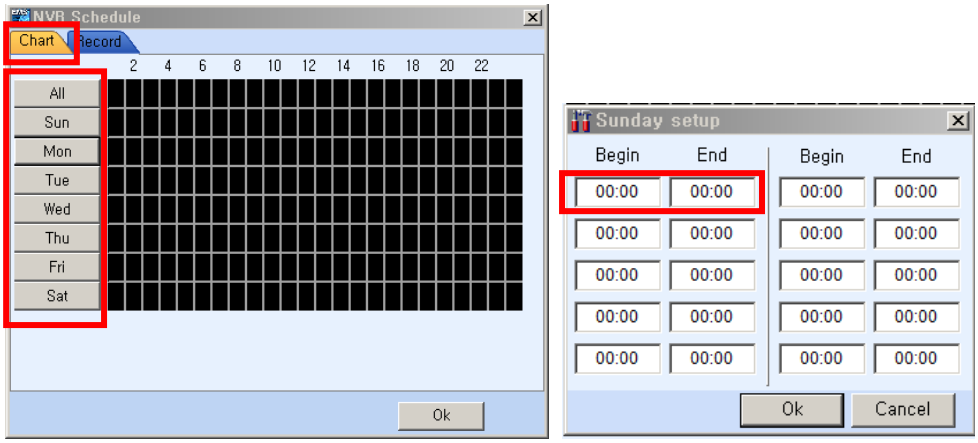
C. Del ： 選択した IPカメラをこのグループから削除します。



D. Schedule :

IPカメラグループに登録された IPカメラの映像を PCの HDDに予約録画できます。

予約のスケジュールを登録するには、「Schedule」ボタンをクリックし、「NVR Schedule」ウインドウを開きます。



予約をしたい曜日のボタンをクリックすると、その曜日の予約スケジュールを入力するウインドウが開きます。

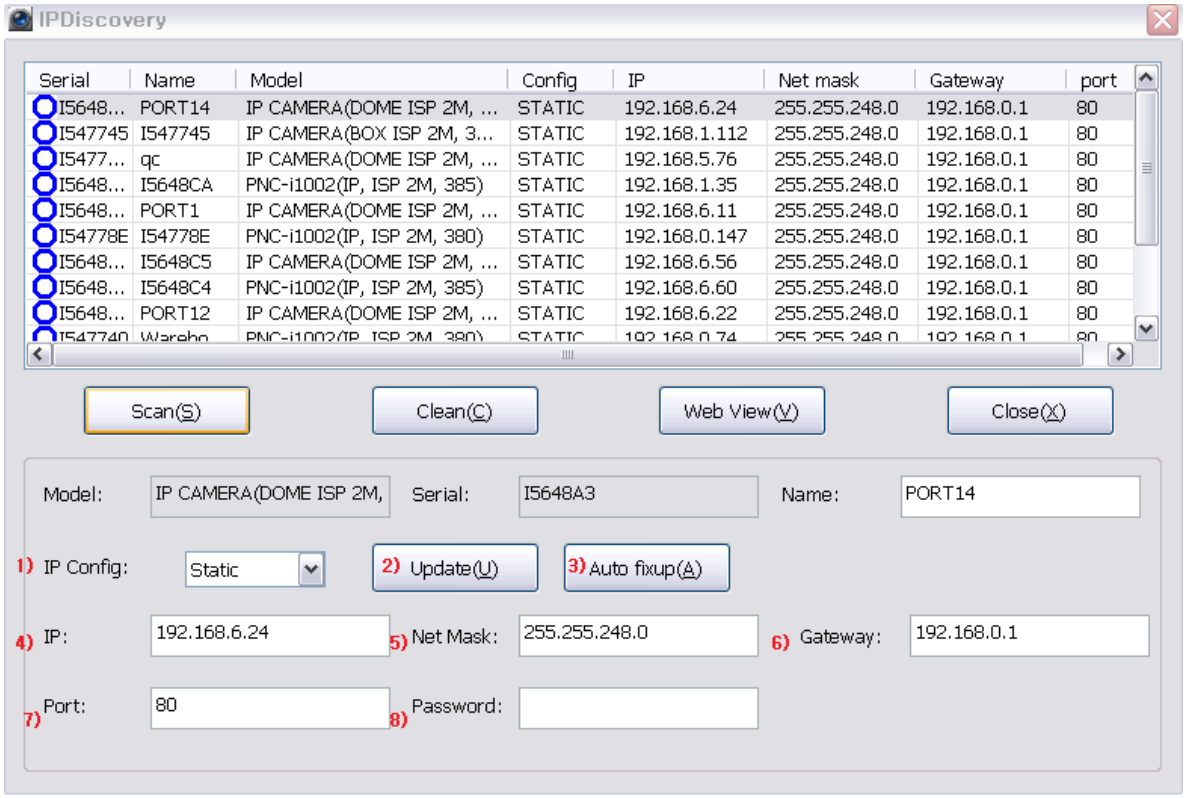
開始時刻と終了時刻を入力してOK ボタンをクリックすると、「予約録画設定」のバーグラフに反映され、予約録画が実行可能になります。

<情報>

- スケジュールは、曜日毎に開始と終了、最大 10セット登録できます。
- 「オール」に登録したスケジュールは、全ての曜日に適用されます。

3. IP Discovery

IP Discoveryは、EMS2から独立した IPカメラのネットワーク設定用ソフトウエアです。 デバイスマネージャーから起動する以外に、スタートメニューからも起動できます。



検出された IPカメラをリスト表示します。 表の項目と意味は下表のようになります。

1) Serial：

予め工場で設定された、カメラ 1台毎に固有のホスト名を表示します。 ホスト名をお客様が変更することは出来ません。

ホスト名の左側の記号は、各カメラの IP設定が現在パソコンからアクセス可能な設定なっているか否かをしめします。

○：アクセス可能

×：アクセス不可能（IP設定の変更が必要です）

2) Name：

お客様がこのカメラのために設定したカメラ名称が表示されます。 工場出荷時の初期設定はホスト名と同じです。

3) Model：IPカメラの機種の分類を示す型番が表示されます。

4) Config：

IPカメラが IPアドレスを取得する方法が表示されます。

STATIC：固定 IPアドレスに設定されています。

DHCP ：DHCP サーバから IPアドレスを取得するように設定されています。

5) IP：IPカメラに設定されたIPアドレスを表示します。

6) Net Mask：IPカメラに設定されたサブネットマスクを表示します。

7) Gateway：IPカメラに設定されたゲートウェイアドレスを表示します。

8) port：IPカメラのHTTPサービスポート番号を表示します。

各機能の説明

1. Scanボタン

このボタンをクリックすると、IP Discoveryを実行しているパソコンと同じネットワーク内に接続されているIPカメラを検索し、そのリストをデバイスリストに表示します。

2. Cleanボタン

デバイスリストを消去します。

3. Web Viewボタン

このボタンをクリックすると、デバイスリストで選択した IPカメラの設定画面を、パソコンの Webブラウザで表示します。

4. Closeボタン

このボタンをクリックすると、IP Discoveryを終了します。

5. Model

デバイスリストで選択した IPカメラの機種の分類を示す文字列が表示されます。

6. Serial

デバイスリストで選択した IPカメラのホスト名が表示されます。

7. Name

デバイスリストで選択した IPカメラのお客様が設定したカメラ名称が表示されます。 また、これを変更することが出来ます。

8. IP Config

デバイスリストで選択した IPカメラの IPアドレス取得方法が表示されます。 また、これを変更することが出来ます。

9. Updateボタン

このボタンをクリックすると、デバイスリストで選択した IPカメラの“Name” “IP Config” “IP” “Net Mask” “Gateway” “Port” の情報を更新します。

10. Auto Fixupボタン

デバイスリストに表示されている IPカメラの中で選択されている複数のカメラに、同時に IP情報を割り当てることが出来ます。割り当てる IPアドレスは「11. IP」で指定した番号から始まる連続した番号を割り当てます。

11. IP

デバイスリストで選択した IPカメラの IPアドレスを表示します。 また、これを変更することが出来ます。

12. Net Mask

デバイスリストで選択した IPカメラのサブネットマスクを表示します。 また、これを変更することが出来ます。

13. Gateway

デバイスリストで選択した IPカメラが利用するゲートウェイのアドレスを表示します。 また、これを変更することが出来ます。

14. Port

デバイスリストで選択した IPカメラの HTTPサービスポート番号を表示します。 また、これを変更することが出来ます。

15. Password

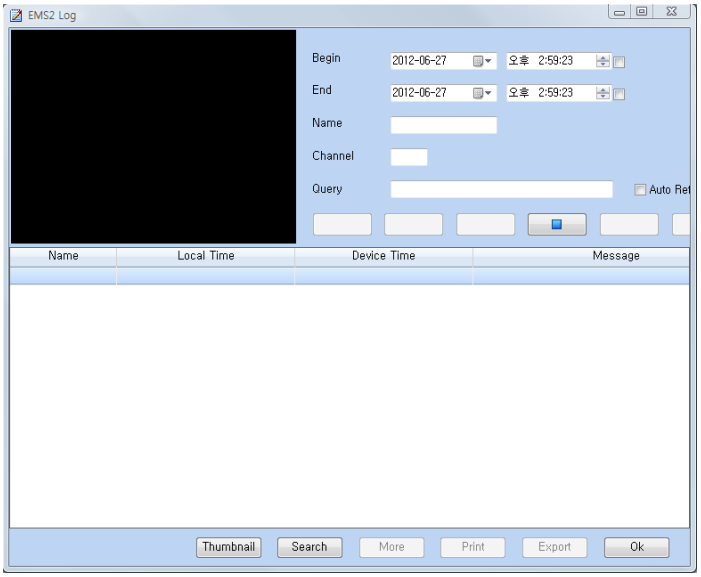
カメラに設定されている管理者パスワードを入力します。

4. Tree

このボタンは、ウインドウ左側のデバイスリストの表示と非表示を切り替えることが出来ます。

5. EMS 2.0 Log

EMS2が実行されている間の全てのイベントのログの中から最大 1、000件までを表示します。



① Begin: ログを取得する開始日時を指定します。

② End: ログを取得する終了日時を指定します。

③ Name: 過去の EMS2ログを検索する場合に DVR名称の全部または一部の文字列を指定する事で、DVR名称にこの文字列が含まれる行を抽出することができます。

④ Channel: 過去のログを検索する場合に、チャンネル番号を入力する事で、特定のチャンネルで起きたイベントの行を抽出することができます。

⑤ Query: 過去のログを検索する場合とリアルタイムのログを表示する場合に「メッセージ」の抽出条件となる文字列を指定します。

⑥ 再生コントロールボタン : ログリストで選択されたいる行の録画映像を再生する場合に、再生方向と速さ指定します。

⑦ Thumbnail または、Reportボタン: このボタンはログリストの検索と表示の方法を「サムネイル」と「レポート」を交互に切替えます。
レポート表示度は通常のログを検索表示します。
サムネイル表示では、イベントアクションで記録されたスナップショットを検索表示します。

⑧ Searchボタン: ログの検索を開始します。表示対象は最初の1000行です。

⑨ Moreボタン: 検索結果のログが1000行を超える場合に、検索結果を1000行ずつ追加します。

⑩ Printボタン: 検索されたログリストを印刷します。

⑪ Exportボタン: 検索されたログリストをテキストファイルとしてエクスとします。

⑫ Okボタン: ログウィドウを閉じます。

6. New VDVR

仮想 DVRはデバイスリストのグループ内に右クリックメニューまたは、ツールバーのボタンで追加します。

7. Tree Window

EMS2に追加された DVR/NVRは、ツリーウィンドウの下に表示され、DVR/NVRのアイコンと名前が表示されます。 さらに、個々のDVR/NVRアイコンは、個々のDVR/NVRの状態を表示するための補助アイコンとしても機能します。 マウスを右クリックして名前を変更することで、グループとサブグループを作成します。「すべてを開く」をクリックすると、一度にすべてのアイコンを開くことができます。

			Network had been disconnected
			Network disconnected

「ADMIN」は、DVR / NVR、ツリー内のE-mapなどのアイコンの位置をドラッグ＆ドロップで変更することができます。

8. Main Window

- Main Windowは、開いたときにはタブ形式で表示され、別の独立したウィンドウとして表示させることが出来ます。 また、独立して表示しているウィンドウはタブ表示に戻すことが出来ます。

タブ表示から独立したウインドウの表示に切り替えるときは、タブをドラッグして他の場所でドロップします。独立したウインドウの表示からタブ表示に切り替えるときは、独立したウインドウのタイトルバーをドラッグして、ウインドウの左上の角をメインウインドウの左上の角に合わせてドロップします。
また、この操作は必要に応じてウインドウ毎に禁止することが出来ます。

9. E-map

- 平面の図面上にカメラの位置等を示すE マップを表示します。

10. Live

- DVR，NVR，IPカメラの現在の映像を表示します。

11. Health

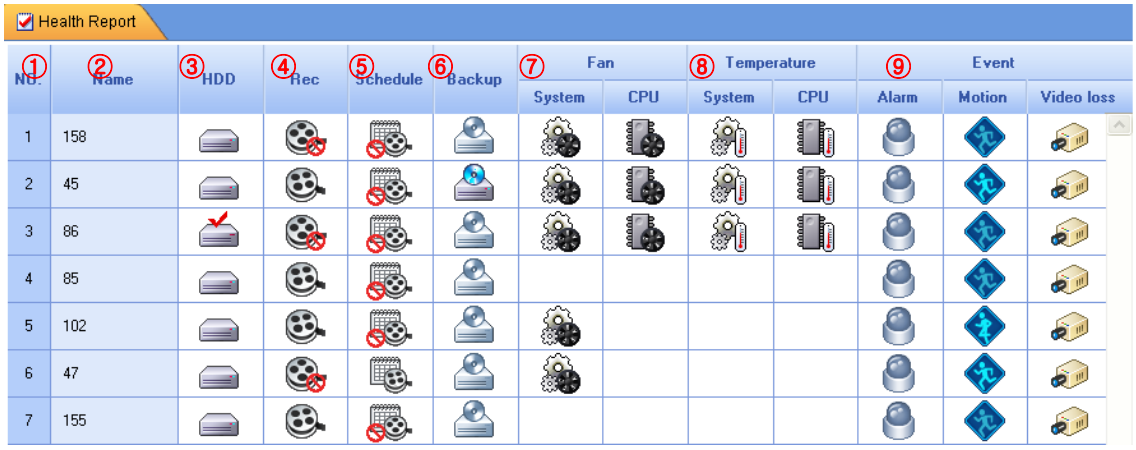
各デバイスの状態を一覧表で表示するヘルスチェックウインドウを表示します。このウインドウはツリー表示下部の「ミニヘルス」ウインドウをダブルクリックすることで表示されます。

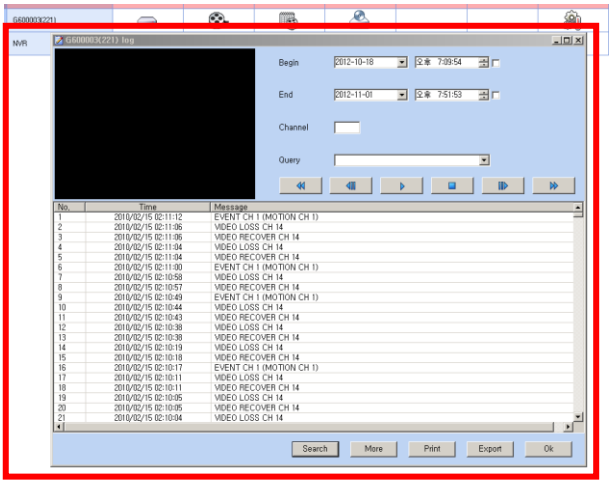
11.1 Warning Colors

- ヘルスチェックウインドウの背景色の違いは次のような意味を持ちます

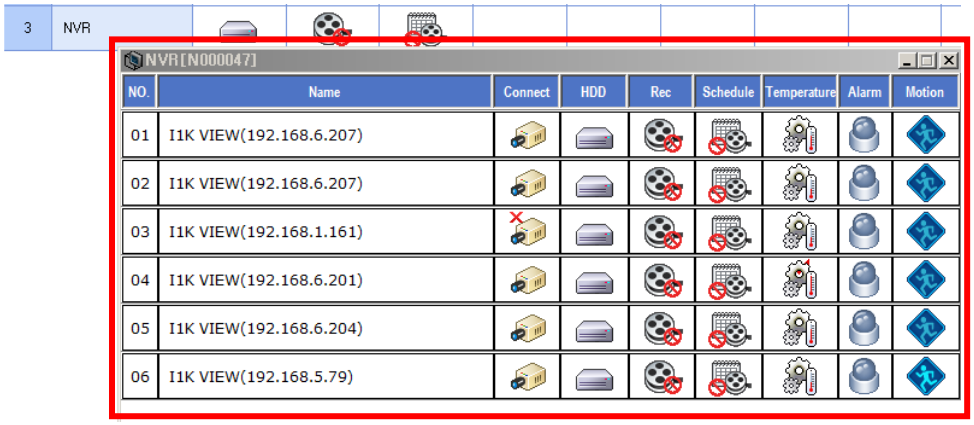
背景色	意味
白色	デバイスに正常にネットワーク接続されている状態
水色	過去にデバイスとのネットワーク接続が切れたが、現在は復旧している状態
ピンク色	デバイスとのネットワーク接続が、現在切断されている状態

11.2 Health Report





- すべてのNVR名、または点灯または消灯ブロックのいずれかをダブルクリックして、各カメラの詳細ヘルスレポートを表示することができます。



① Number

- 登録されているデバイスの通し番号をツリー表示の順で表示します。

② Name

- DVR/NVR/IPカメラに付けられた名称を表示します。

③ HDD

- HDDの状態を表示します。

	HDDの状態が正常であることを示します。
	HDDで過去にエラーが発生したが、現在は復旧している事を示します。
	HDDにエラーが発生していることを示します。

④ Rec.

- DVRの録画ボタンの状態を示します。

	EMS2 起動時から既に録画が開始されている状態を示します。
	過去に録画が停止されたが、現在は録画が開始されている状態を示します。
	録画が停止されている状態を示します。

⑤ Schedule

- 予約録画の状態を示します。

	EMS2 起動時から既に予約録画が開始されている状態を示します。
	過去に予約録画が停止されたが、現在は予約録画が開始されている状態を示します。
	予約録画が停止されている状態を示します。

⑥ Backup

- バックアップ LEDの状態を示します。

	EMS2 起動時から既にバックアップ中の状態を示します。
	過去にバックアップが実行されていない状態だったが、現在はバックアップ中の状態を示します。
	バックアップが実行されていない状態を示します。

⑦ FAN

- System Fan Lock: 装置のケースファンの状態を示します。
- CPU Fan Lock : 装置のCPU Fanの状態を示します。(MPEG4 Modelのみ対象です。)

		正常な状態を示します。
		過去にファンが停止したが、現在は正常に戻っていることを示します。

		ファンが停止していることを示します。

⑧ Temperature（製品により対応しない場合があります。）

- System: 装置の内部温度の状態を示します。
- CPU: 装置のCPU温度の状態を示します。

		EMS2 起動時から装置の温度が正常な状態であることを示します。
		過去に温度が異常な状態だったが、現在は正常に戻っていることを示します。
		温度が異常な状態であることを示します。

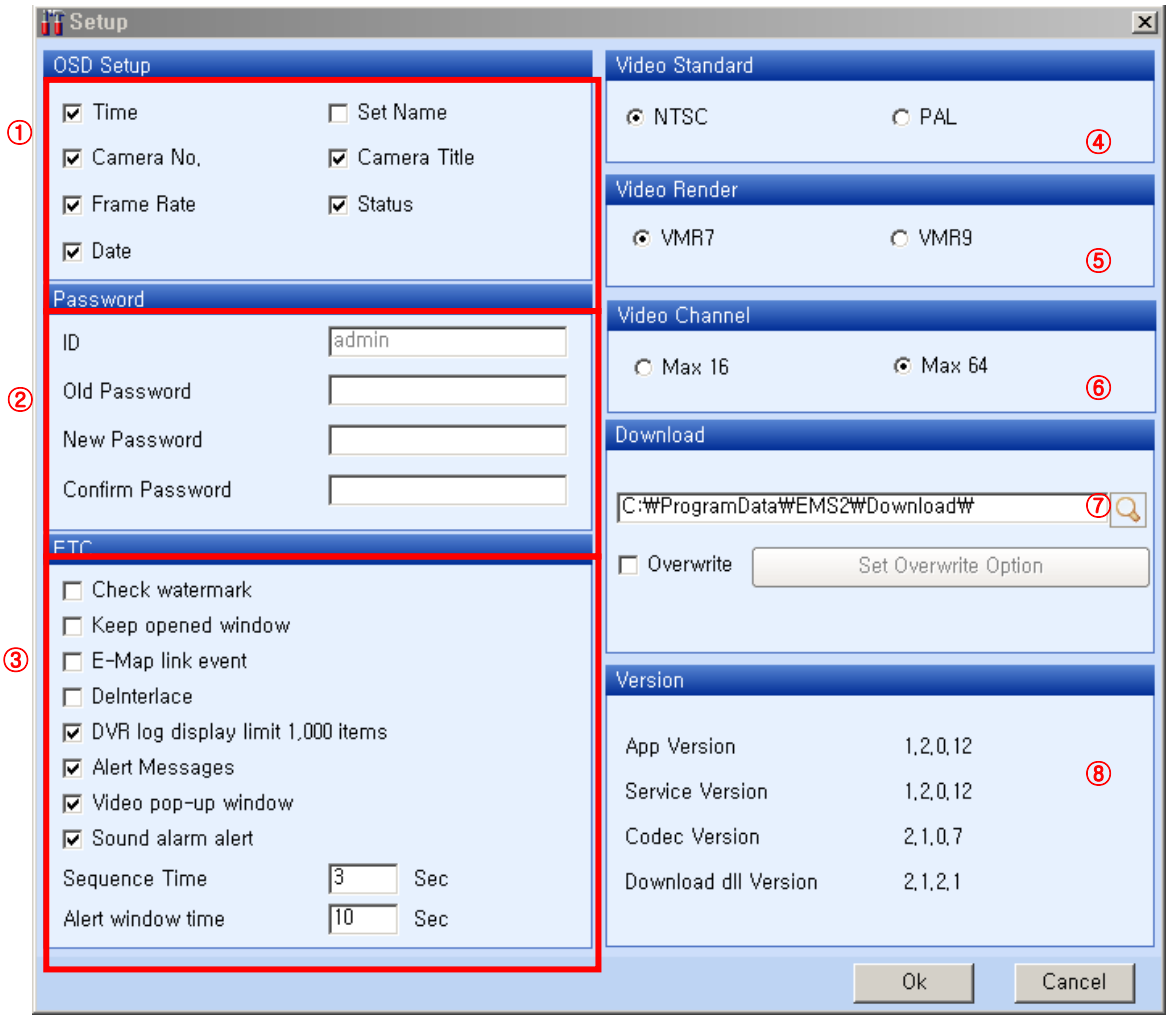
⑨ Event

A. ALARM トリガー - アラーム録画の状態を示します。
B. MOTION トリガー - モーション検出の状態を示します。
C. VIDEO LOSS - ビデオ信号の状態を示します。

Alarm		EMS2 起動時からイベント／アラーム録画が実行されていないことを示します。
		過去にイベント／アラーム録画が実行されたが、現在は実行されていない状態であることを示します。
		現在、イベント／アラーム録画中のチャンネルがあることを示します。
Motion		EMS 起動時から、モーションが検出されていないことを示します。
		過去にモーションが検出されたが、現在は検出されていない事を示します。
		現在、モーションを検出していることを示します。
Video Loss		EMS2 起動時からビデオロスが発生していないことを示します。
		過去にビデオロスが発生したが、現在は復旧していることを示します。

2. EMS2のSetup

- EMS2 ソフトウエアの設定は、「ファイル」メニューから「設定」に入ります。



1. OSD Setup

それぞれのカメラの「Time」「Name」「Camera No.」「Camera Title」「Frame Rates」「Status」「Date」の情報をオンスクリーン表示するかしないかを選択します。

2. Password

– EMS2の起動パスワードを変更する場合に使用します。

a) Old Password: 現在のパスワードを入力します。（初期値“0” ）

b) New Password: 新しいパスワードを入力します。

c) Confirm Password: 確認のため、新しいパスワードを再度入力します。

3.

<注意> このパスワードは、EMS を起動する時に入力するパスワードのことです。DVR, NVR, IP カメラ等のデバイス用のパスワードのことではありません。

1) Check Watermark - Watermarkをチェックするように設定します。

2) Keep opened window - このチェックボックスをチェックすると、EMS2終了時に現在のメインウィンドウの状態を保存し、再起動時に元の状態に戻します。

3) E-Map link event - イベント発生時に他の Eマップにリンクされた Eマップアイコンを点滅させることができます。

4) DeInterlace - 飛越走査映像の表示を改善します。

5) 1000 DVR/NVR logs per page - DVRログリストで、一度の操作で検索できる行数を1000行に制限します。

6) Alert Messages - イベントアクション機能で、イベント発生時などに警告メッセージを表示させる場合にチェックします。

7) Video pop-up window - イベントアクション機能で、イベント発生時等にライブ映像のポップアップウィンドウを表示させる場合にチェックします。

8) Sound alarm alert - 音による警告を有効/無効を切り替えます。

9) Sequence Time - シーケンス機能のタブ自動切り替え表示時の画面切替時間を指定します。

10) Alert window time - 警告メッセージの表示間隔を指定します。

4. Video Standard

- 接続するデバイスの映像信号方式を指定します。 日本市場向けの機器を接続する場合「NTSC」を選択します。

5. Video Render

- 初期設定では「Video Render Default」に設定されています。「Video Render Default」でライブ及び再生映像が正しく表示されない場合は「Video Render」「VMR 9」「VMR 7」を順に試して、タブ表示・ウインドウ表示・全画面表示が全て正しく表示される状態に設定してください。

6. Video Channel

- 分割画面表示の最大分割数を選択します。

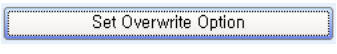
7. Download Option.

各デバイスの“Download Path” の初期値を指定します。 ここで指定したパスは、デバイスマネージャーでデバイスを追加するときに“Download Path” の初期値として引用されます。

1) Download Folder

- ダウンロード及び予約バックアップに使用する保存先フォルダを指定します。

2) Overwrite

- 上書き設定をするには "overwrite" ボックスをチェックし、 

ボタンを

クリックします。

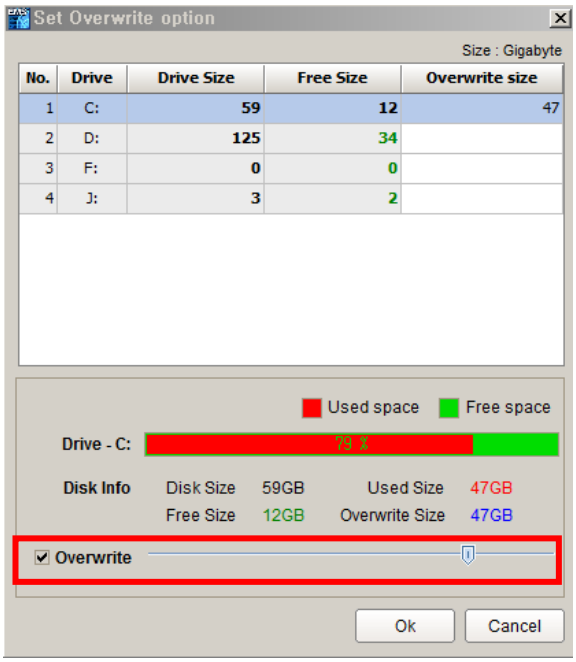
"Set Overwrite Option"ウィンドウが表示されます。

- このウィンドウでは、スライダーで調整することによってディスクの使用量を制限できます。

<注意>

● 上書きされるデータが書き込まれた後に既存のデータが削除されます。 従って、制限容量を一時的に多少超える場合があります。

● バックアップ先のドライブには、OS のシステムドライブとは別の物理ドライブを使用することを強くお勧めします。



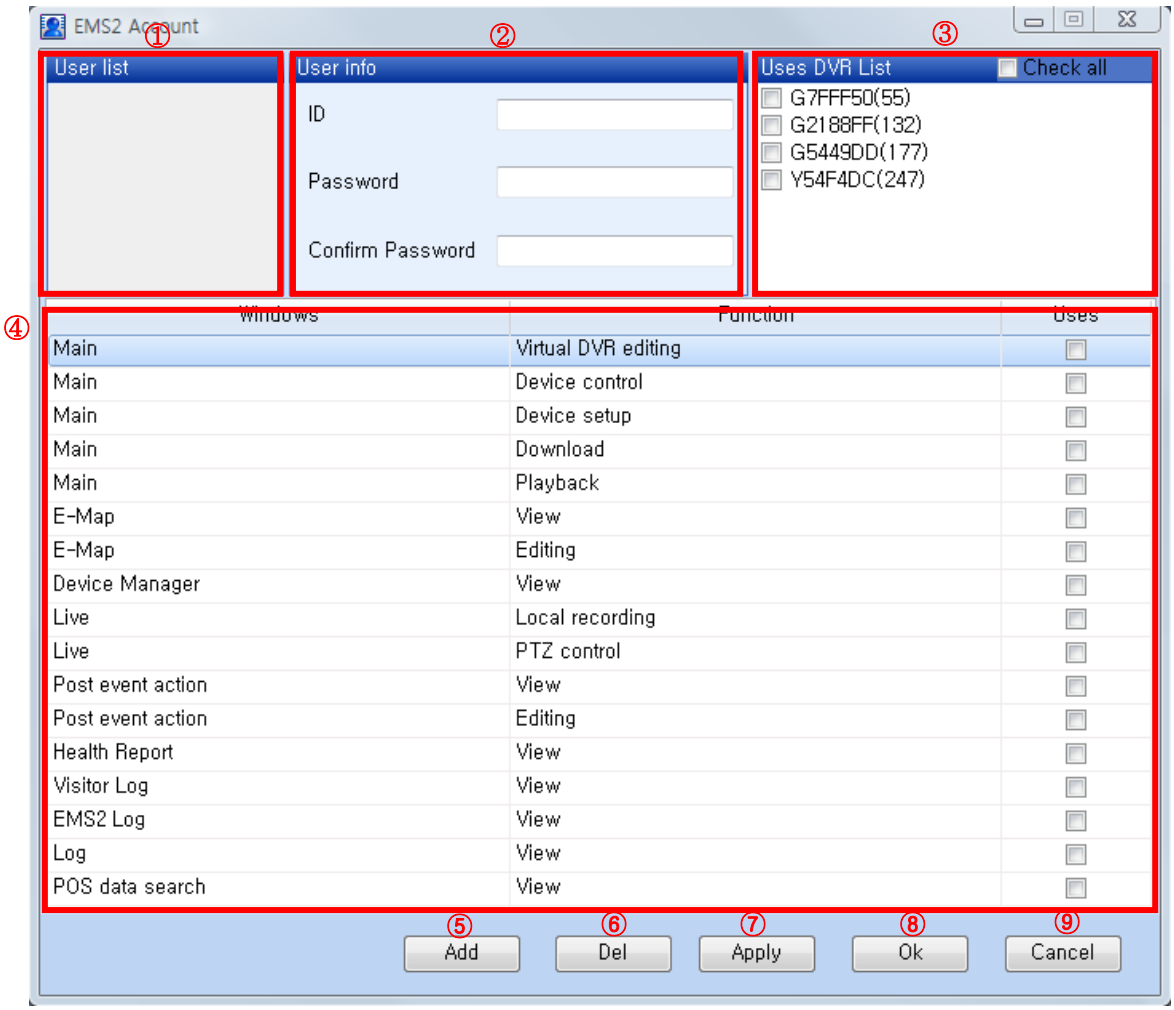
8. Version.

- EMS2のバージョン番号を示します。

3. EMS2 account

EMS2を操作することが出来るユーザーを管理します。 このユーザーはWindows のユーザーやDVR のユー

ザーとは独立して管理されています。 このユーザーは最大 20人まで増やすことが出来ます。
基本的なユーザー追加の手順は、Addボタンをクリックした後、「ユーザー情報」「使用DVR リスト」「権限」を設定してから Applyボタンで設定を保存します。



1. User list

- EMS2に登録されているユーザーのリストを表示します。

2. User info

– 選択したユーザーの IDとパスワードを変更する場合に使用します。

3. Uses DVR List

-. 選択したユーザーに対してアクセスを許可するデバイスを選択します。

4. Detail Windows

-. 選択したユーザーに対して操作を許可するEMSの機能を選択します。

5. Add

-. 新しいユーザーを追加します。（20ユーザー）

6. Del

-. 選択したユーザーを削除します。

7. Apply

-. 選択したユーザーの変更を保存します。

8. OK

-. 選択したユーザーの変更を保存してウインドウを閉じます。

9. Cancel

-. 選択したユーザーの変更を保存せずにウインドウを閉じます。

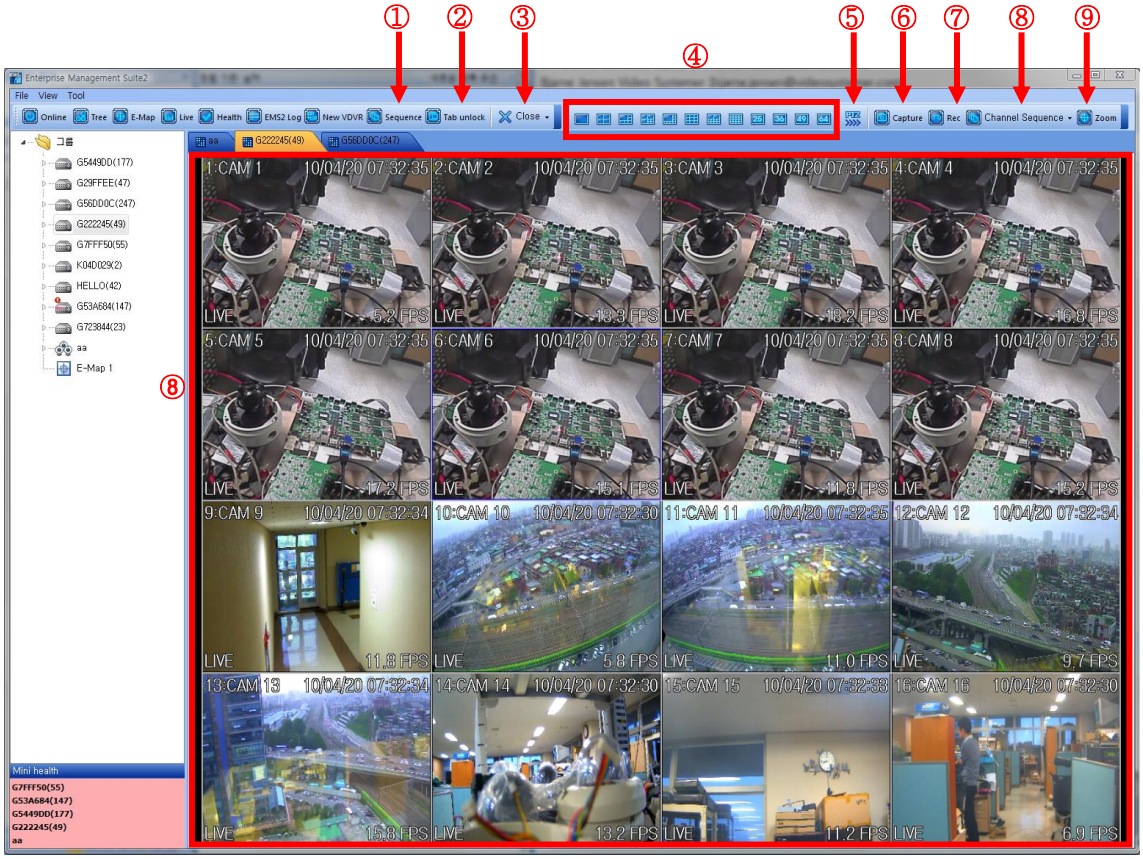
V. DVR & NVR/IPカメラの制御

1. ライブ監視

- ライブモードは、個別の DVR / NVR/仮想DVR 及び IPカメラを表示できます。

1. 個別の DVR/NVR/IPカメラグループ

- DVR/NVRアイコン / IPカメラアイコン をダブルクリック、あるいはこれらのデバイスを選択した状態でライブボタンをクリックするとライブ監視映像が表示されます。



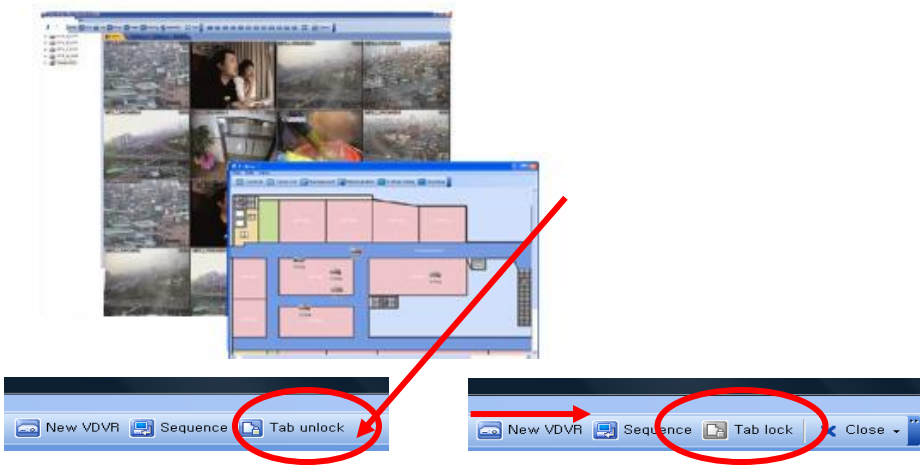
1) Sequence

- メインウインドウのタブを自動切換表示します。

例) X6000 → NVR-1 → E-Map-1

2) Tab unlock

- EMS2では、メインウインドウにタブ形式で表示される「ライブ」「再生」「E マップ」「ヘルスチェック」等のウインドウを別のウインドウに分離したり元のタブ形式に統合したりすることができます。



1回クリックする毎に「ロック」と「アンロック」の状態が切り替わり、上記のような動作になります。

3) Close

- Close : メインウインドウに表示されている 1つのタブを閉じます。
- Close all : 全てのタブを閉じます。

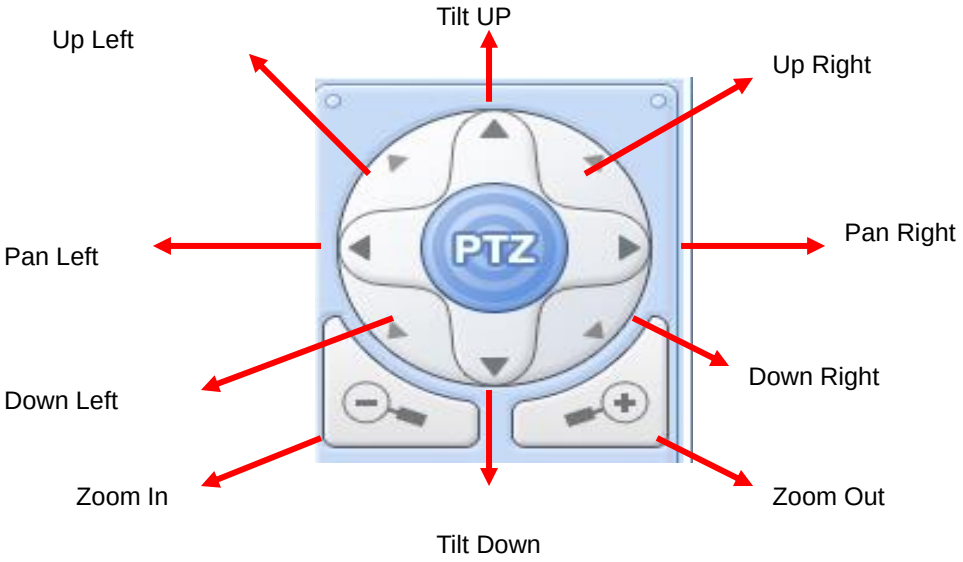
4) 画面分割オプション

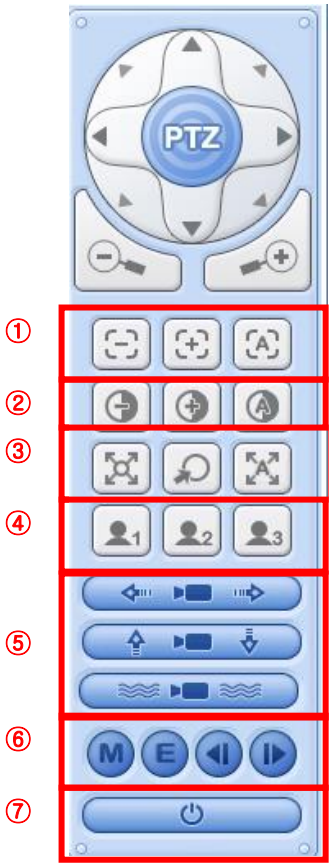
- ライブ及び再生ウインドウで、分割表示の分割数を指定します。 この分割数はDVR やNVR のチャンネル数に関係なく指定することが出来ます。

a. 1画面表示
b. 4分割表示
c. 6 分割表示
d. 7 分割表示
e. 8 分割表示
f. 9 分割表示
g. 10 分割表示
h. 16 分割表示
i. 25 分割表示
j. 36 分割表示
k. 49 分割表示
l. 64 分割表示

5) PAN / TILT / ZOOM CONTROL

- DVRにPTZ(パン・チルト・ズーム)カメラが接続されている場合、ライブウインドウ(DVR, NVR, 仮想DVR)が表示されている状態でPTZボタンをクリックすると、PTZ コントロールボックスが表示されます。





① フォーカス

表示	動作
	レンズの焦点を遠距離側に動かします。
	レンズの焦点を近距離側に動かします。
	オートフォーカス(自動焦点)にします。

② アイリス

表示	動作
	アイリス(絞り)を開く側に動かします。
	アイリス(絞り)を閉じる側に動かします。
	オートアイリス(自動絞り)にします。

③ プリセット

表示	動作

	プリセットを登録します。このボタンをクリックした後に、表示されたウインドウにプリセット番号を入力し、OKボタンをクリックします。
	プリセットを呼出します。このボタンをクリックした後に、表示されたウインドウにプリセット番号を入力し、OKボタンをクリックします。
	カメラのツアー機能を実行します。

④ 特殊機能

PTZカメラの各機種固有の機能を制御するために用意されている予備のボタンです。

⑤ オート PTZ

表示	動作
	オートパン機能を実行します。
	オートチルト機能を実行します。
	パターンを実行します。

⑥ Menu、ESC、SPEED 制御 – 詳細機能は DVR 取扱説明書を参照してください。

⑦ パン・チルト電源

パン・チルトのスタンバイまたはPTZ カメラのライトをON /OFF します。

6) Capture

- 現在の表示している映像を静止画としてファイルに保存または印刷するための「キャプチャーと印刷」ウインドウを開きます。

7) REC

- DVR, NVR, IPカメラの映像をEMS2が動作しているパソコンに動画で録画することが出来ます。
録画ボタンは 1回クリックする毎に録画と停止が交互に切り替えます。

<注意>

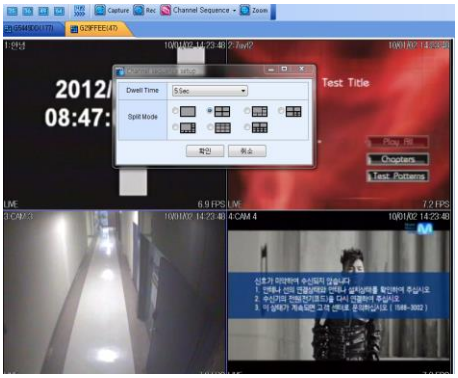
● このボタンは DVR、NVR 本体の録画の開始と停止を制御する機能ではありません。

● このボタンで録画されるデバイスとチャンネルは、このボタンのあるタブまたはウインドウで表示されているデバイスのチャンネルのみです。

●録画データは、デバイスマネージャーで設定された各デバイスの“Download Path” の下位フォルダに複数の階層で保存されます。

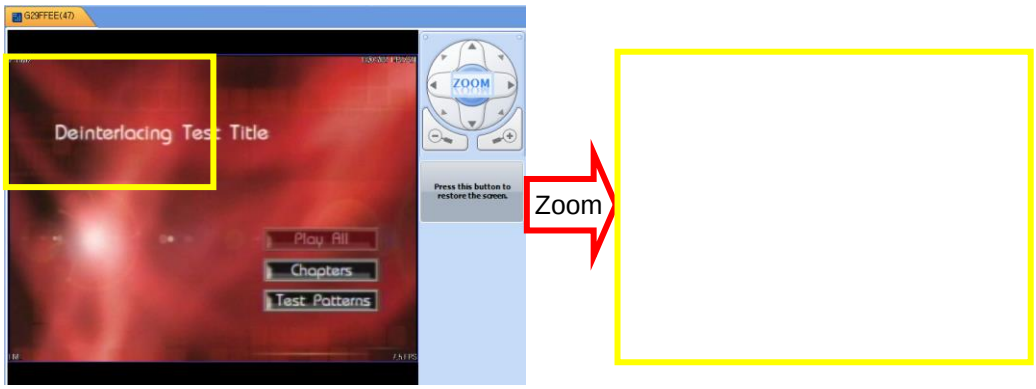
8) Channel Sequence

- チャンネルシーケンス機能は、1つのDVR, NVR または仮想 DVRのライブ画面の中で、チャンネルを自動切換する機能です。 チャンネルシーケンスボタンは1回クリックする毎に動作と停止が交互に切り替わります。



9) Zoom

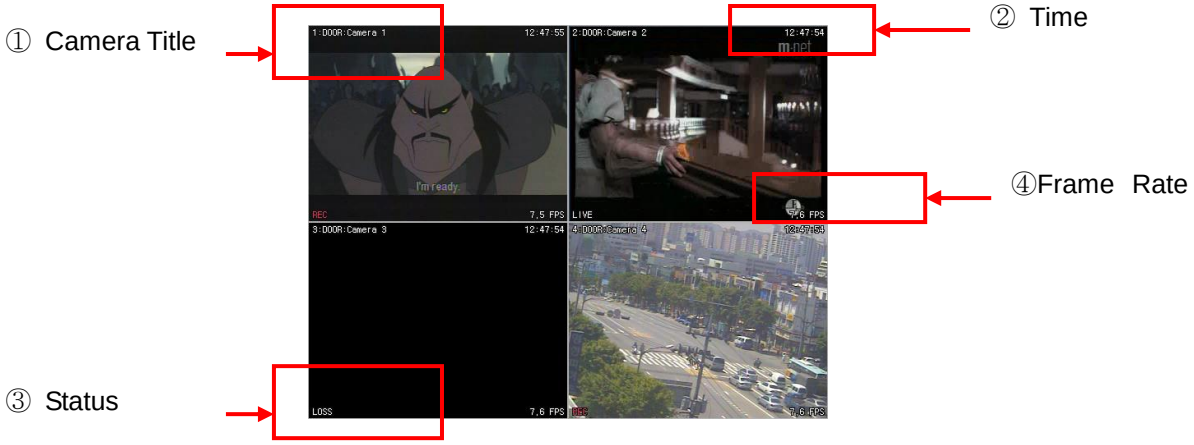
- クリックする毎にズームウインドウの表示と非表示を切り替えます。



10) メインウィンドウ

(1) オンスクリーン表示

メインウインドウには、次のようなオンスクリーン(字幕)表示があります。



① Camera Title: カメラ番号と DVRや NVRに設定されたカメラ名称(カメラタイトル)を表示します。

② Time: 表示されている画像が撮影された日時を示します。

③ Status: 録画、ネットワーク接続、ビデオロス、イベント、および現在のステータスを表示します。

表示	意味
REC	ノーマル（連続）録画中
Wait	初期接続中
Loss	ビデオロス
Close	DVR またはNVR の接続切れ
Alarm	アラーム録画中
Motion	モーション録画中
PB	再生中
Live	ライブ監視中（録画されていない状態）

④ Frame per Second: 1秒間に何枚の画像が表示されているかを示します。

2. 仮想 DVR

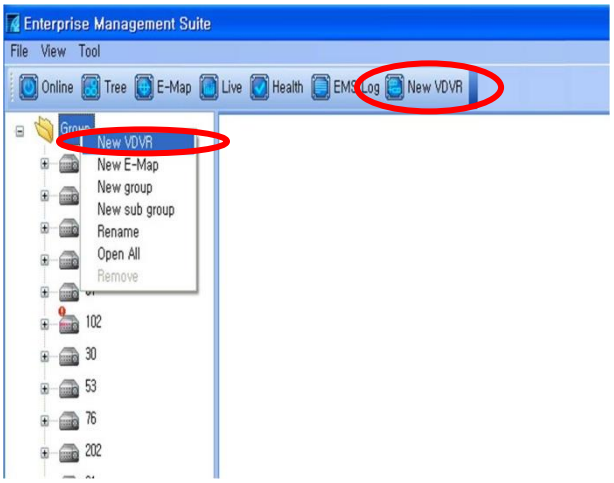
1) 仮想 DVR とは

仮想 DVRとは、複数のDVR/NVR または IPカメラグループのチャンネルから好みのチャンネルのライブ映像を選択して、1つのウインドウ内に最大64 画面で表示する機能です。

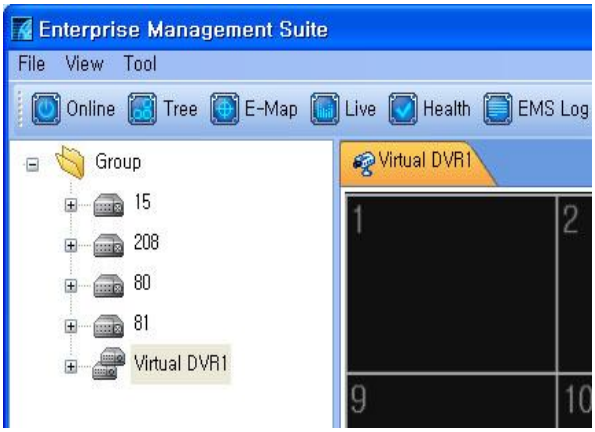
2) 仮想 DVR 監視

- 仮想 DVRの監視の基本は、個々のDVRと同様です。 唯一の違いは、仮想 DVRが複数の個別のDVR/NVRから選択された複数のカメラで構成されていることです。

3) デバイスの追加

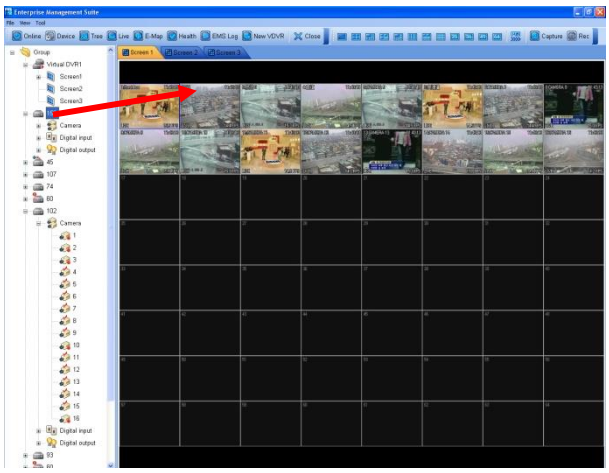


① 仮想 DVRはデバイスリストのグループ内に右クリックメニューまたはツールバーのボタンで追加します。

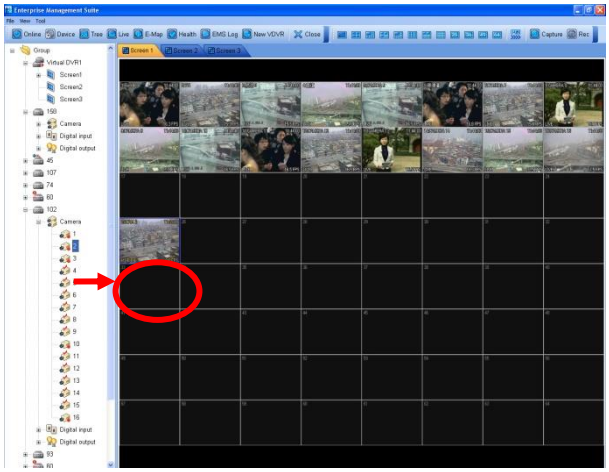


② 表示する画面を選択します。 仮想 DVRの選択された画面が起動され、 "▷"で示されます。

画面の数は、セットアップ画面に登録されているモニター数によって異なります。 (最大16)



③ 仮想 DVRに各デバイスのチャンネルを全て追加するには、デバイスのアイコンを仮想 DVRのメインウインドウにドラッグ&ドロップします。



④ 仮想 DVRに各デバイスの個別のチャンネルを追加するには、デバイスのアイコンを＋ で展開し、表示された個別のカメラアイコンを仮想 DVRのメインウインドウにドラッグ&ドロップします。

4) Delete Camera

- 仮想 DVRから登録されたデバイスを削除するには、メインウインドウの該当するチャンネル部分を右クリックして、表示されたメニューから削除を選択します。

.

2. 再生モード

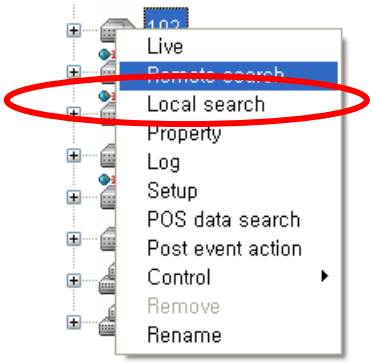
EMS2 を利用して録画された映像を再生する場合、DVR やNVR に録画されている映像を再生する場合と、EMS2 を実行しているパソコンに保存されている映像を再生する場合の 2種類の再生モードがあります。

1. Remote Search

リモート検索は、DVR やNVR に録画されている映像をグラフで選択することで再生したり PC にダウンロードしたりする機能です。 DVR やNVRのアイコンを右クリックし、表示されたメニューからリモート検索を選択します。

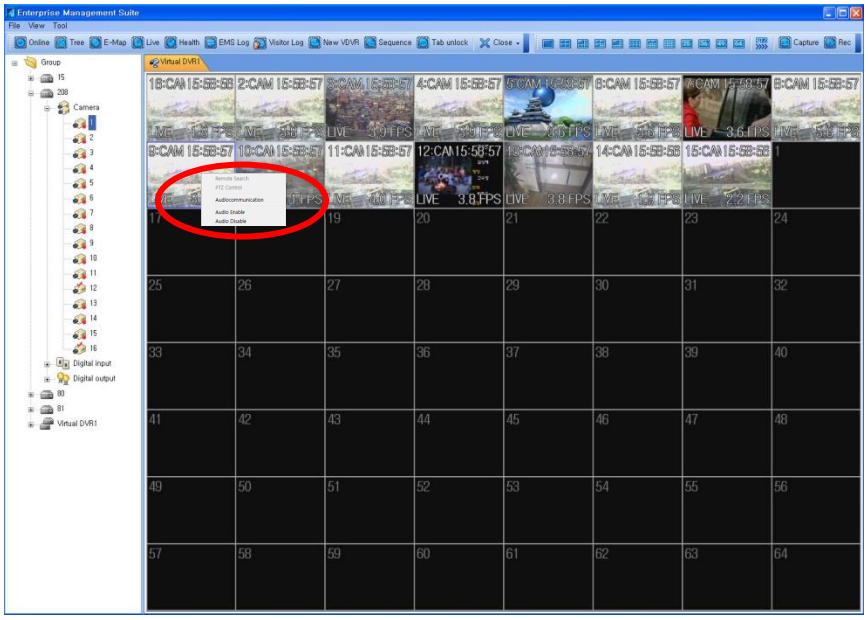
注意) 各 IPカメラは PCに直接記録されるため、NVRはリモート検索ではサポートされていません。

1) Remote Search



DVRを右クリックするとコンテキストメニューが画面に表示されます。

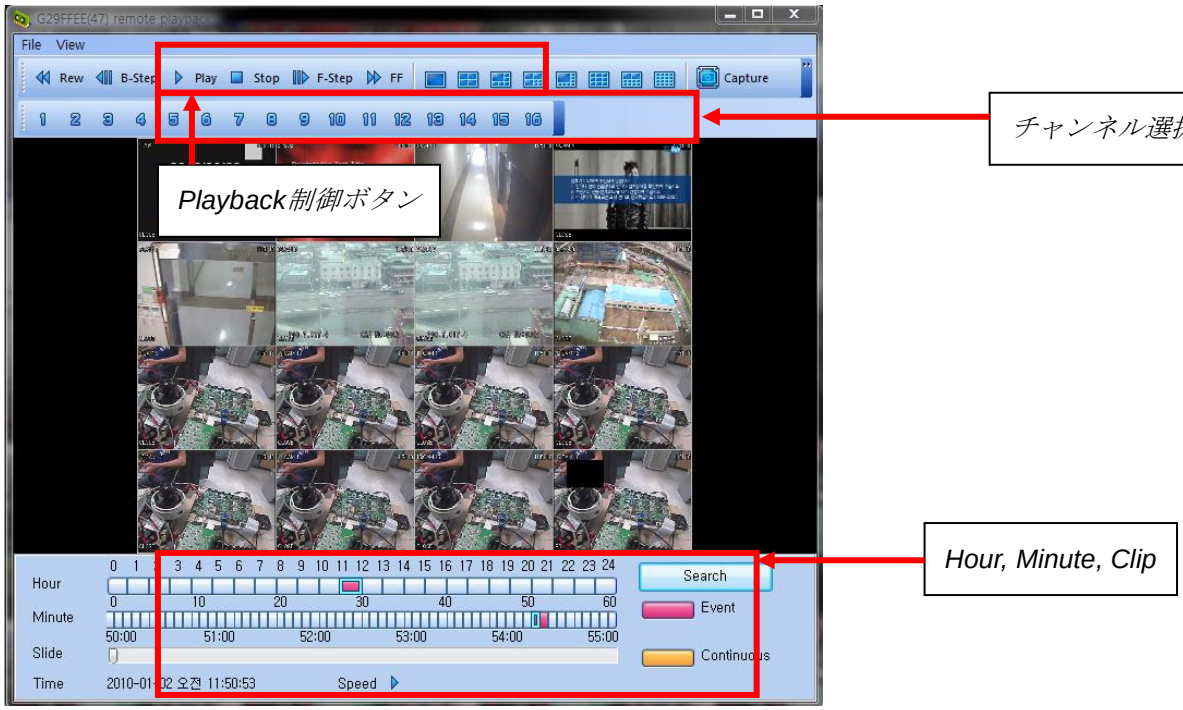
それ以外の場合は、ライブウィンドウを右クリックし、コンテキストメニューが画面に表示されます。



リモート検索は、DVRに保存されている録画ビデオをグラフに表示します。 データはカテゴリ別に色分けされています：アラーム（RED）>モーション（グリーン）>ノーマル（黄色）

希望の日付と時刻を選択します。 クリックしてドラッグすると、より長い分を選択することができます。

ボタンをクリックして再生を開始します。

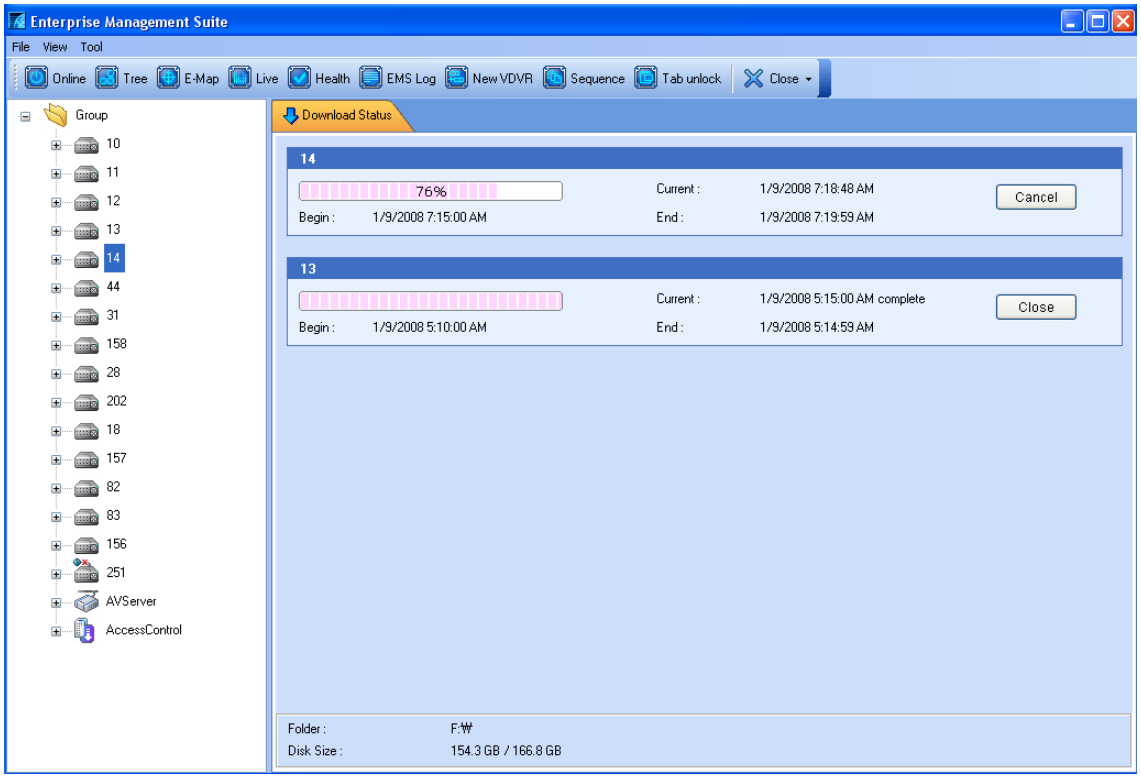


時間、分、クリップをいつでもクリックして、前後に移動することができます。

2) Remote Download

「ダウンロード状態」ウインドウでは、Remote Search・Go to search・Schedule Backup 等によるダウンロードの実行状況を確認します。

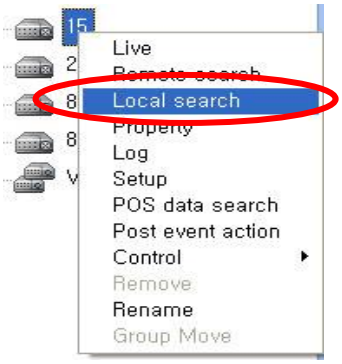
「ダウンロード状態」ウインドウは、メニューからツール→ ダウンロード→ 状態で開きます。 また、「Remote Search」と「Go to search」からダウンロードを開始した場合は自動的に開きます。



ダウンロードされた影像は、最大500のステータスを表示しました。 ダウンロードが完了すると、「Download Complete」が表示されます。 ステータスを削除するには、<Close>をクリックします。

2. Local Search

Local Searchは、既にPC にダウンロードされている映像を再生したり他の場所にコピーしたり AVI 変換したりする機能です。

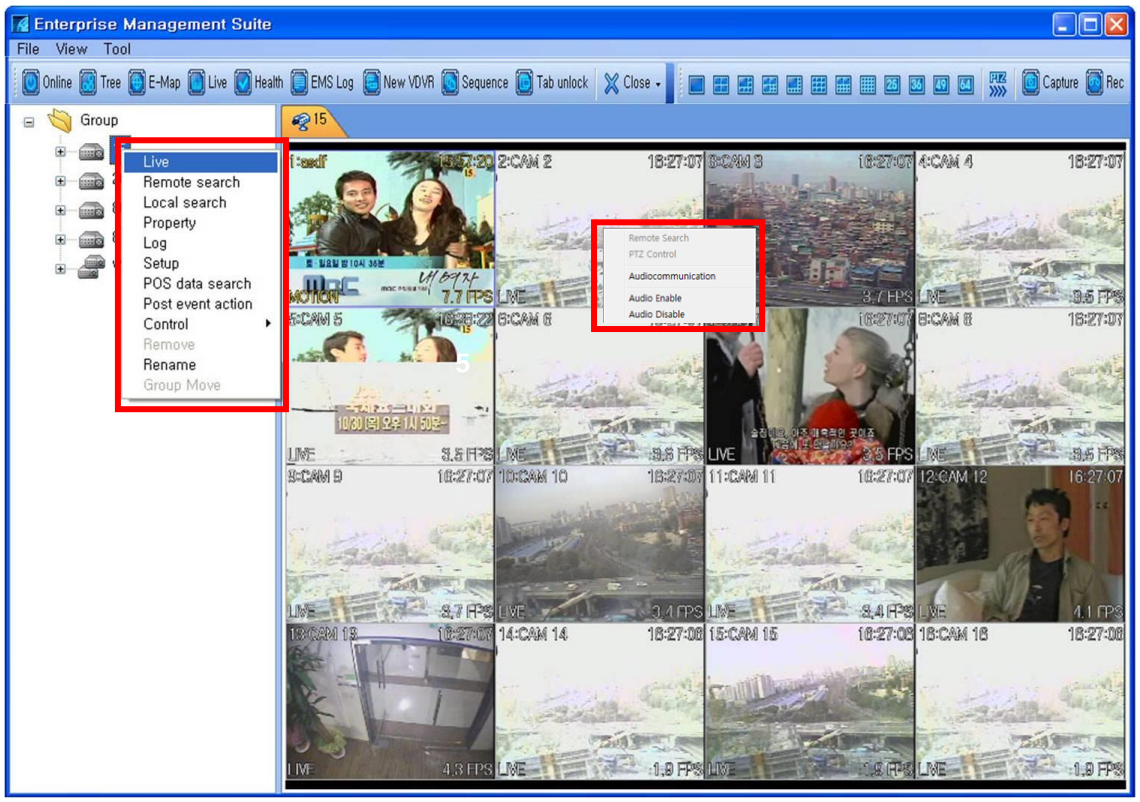


ツールにあり、ファイルがダウンロードされたDVR / NVRファイルを選択します。 または、DVR / NVRを右クリックするとコンテキストメニューが画面に表示されます。

3. DVR Menu Setup

- DVRセットアップでは、DVRメニュー画面へのアクセスと同様に、EMS2を通じてすべてのシステム設定を変更することができます。
- DVRのセットアップは、任意のDVRのコンテキストメニューからアクセスできます。

4. Context Menu



- コンテキストメニューでは、チャンネル、DVR / NVR、仮想DVRのサブメニューにアクセスできます。 サブメニューでは、個々のサブメニュータイプごとにさまざまな機能にアクセスできます。

1. Virtual DVR Context menu

1) Live

- 事前設定された仮想 DVR のライブ監視を開始します。

2) Rename

- 仮想 DVR タイトルを入力して、EMS2 ツリーに表示します。

3) Remove

- 仮想DVRを EMS2ツリーから削除します。

4) Group Move

- 仮想DVRを他のグループに移動します。

2. NVR Context menu

1) Live

- 選択したDVRのライブ監視を開始します。

2) Local Search

- Local Search ウィンドウに入ります。

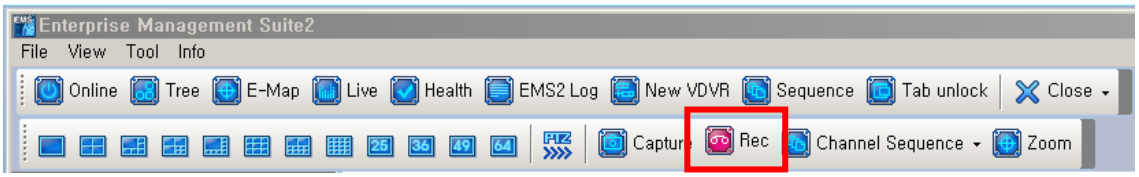
3) Post Event Action

- Post Event Action ダイアログに入ります。

4) Control

- 録画の開始/停止

注意．使用者がメニューバーでRECボタンを使用すると、表示されたカメラチャンネルのみがPCに記録されます。



5) Rename

- 個々の NVR タイトルを入力して、EMS2 ツリーに表示します。 E-Map は影響を受けません。

6) Record Schedule

- 予約録画の日付と時刻を設定します。

7) Health

3. DVR Context menu

1) Live

- 選択した DVRのライブ監視を開始します。

2) Remote Search

- Remote Search ウィンドウに入ります。

3) Go to Search

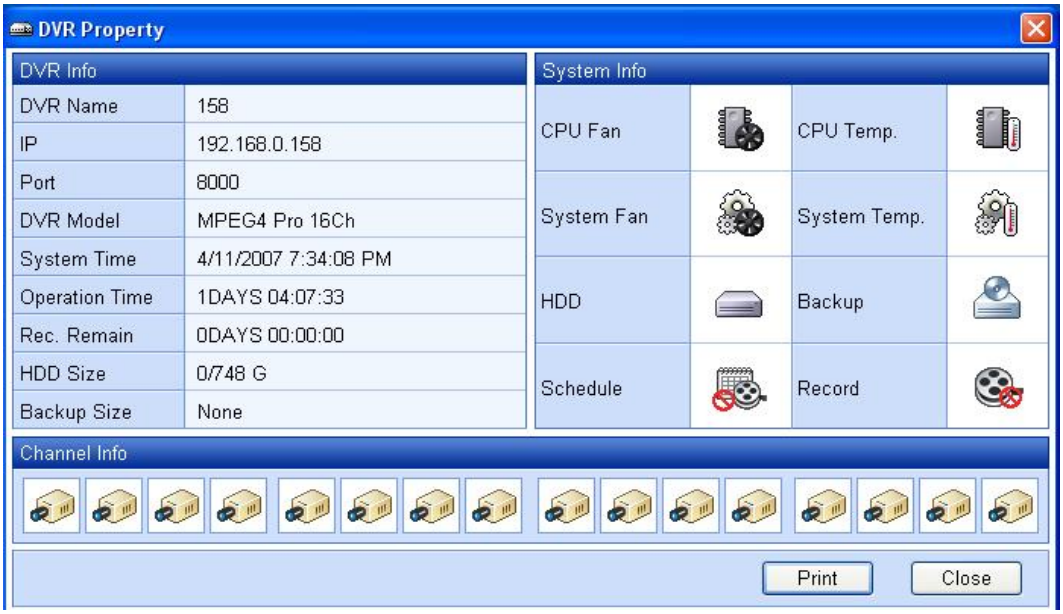
- Go to Search ウィンドウに入ります。

4) Local Search

- Local Search ウィンドウに入ります。

5) Property

- EMS2から、個別のDVR の状態を確認します。



5) Log

- DVRのシステムログを EMS2で表示します。

6) Setup

- DVRの設定メニューを EMS2から遠隔設定します。

7) P.O.S data Search

- この機能は現在はサポートしておりません。

8) Post Event Action

- Post Event Action ダイアログに入ります。

9) Control

① Record – 開始/停止, 予約録画開始/停止,ブザー,DVRの設定をします。

②Schedule Record – 開始/停止 (利用可能なモデルのみ)

③Buzzer – アラーム出力 トリガー/解除 (利用可能なモデルのみ)

④DVR Setup – エクスポート/インポート/アップデート

10) Remove

- DVRウィンドウから DVRを取り外します。

11) Rename

- 個々の DVR タイトルを入力して、EMS2 ツリーに表示します。 E-Map は影響を受けません。

12) Group Move

4. Camera Context menu

1) Live

- 選択したカメラのライブ監視を開始します。

2) Post Event Action

- Post Event Action ダイアログに入ります。

3) Control - PTZメニューのGoTo、Tour、Auto Pan / Tiltの制御

4) Set up – IPカメラの場合のみです。 IPカメラのセットアップメニューが表示されます。

5) Rename

5. Digital Input/output Context menu

- デジタル入力はセンサー入力で、デジタル出力はアラーム出力です。

1) Digital Input

① Post Event Action

② Rename

2) Digital Out put

① Control - アラーム出力トリガー/解除

② Rename

6. Channel Context menu

1) Remote Search

- 1台のカメラのローカル検索ウィンドウに入ります。

2) PTZ control

3) Remove (仮想 DVRのみ)

- 仮想DVRから単一チャネルを削除します。

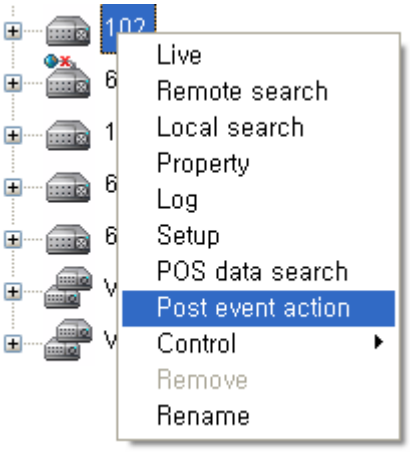
4) Audiocommunication

- 双方向オーディオサポートします。

VI. Post-EVENT ACTION

イベントアクション機能は、DVR／NVR／IP カメラグループ及びそれに接続（登録）されたカメラやセンサー等で発生したイベントを元に、PC での警告やDVR の制御を実行する機能です。

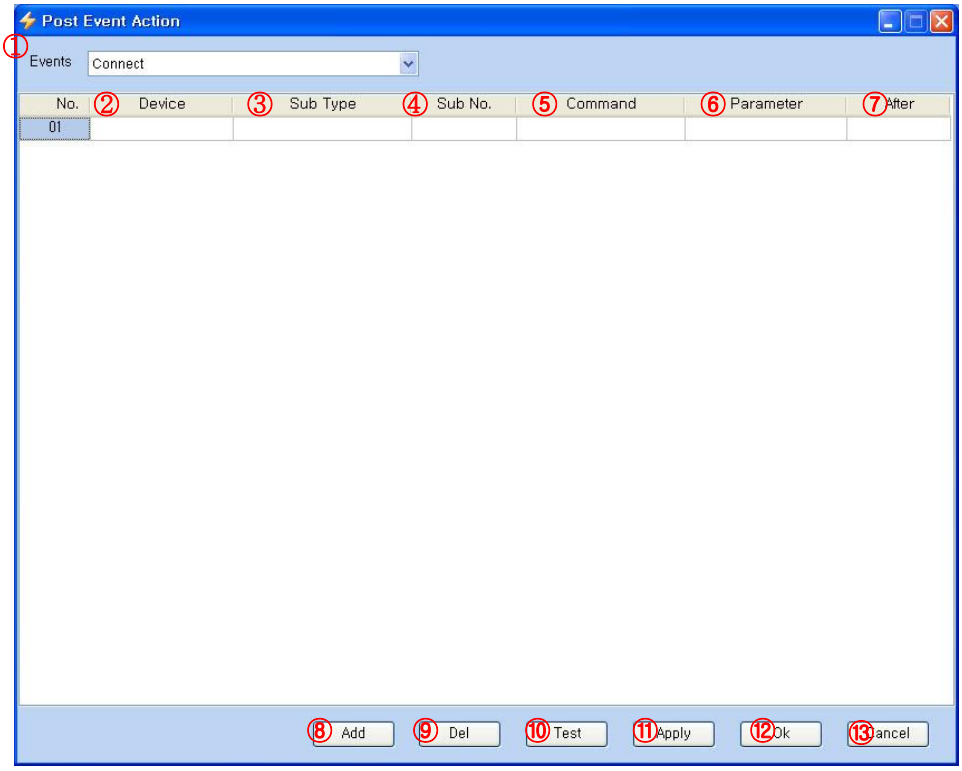
1. DVR/NVR Post-Event Action



DVR / NVRを右クリックするとコンテキストメニューが画面に表示されます。

Post-Event ポップアップウィンドウが以下のように表示されます。

.



1) Event

- EMS 2.0は、システムの異常に関する通知を送信します。

DVR : [Connect, Disconnect, HDD fail, Fan Fail, Temperature Fail]

NVR : [Connect, Disconnect, Temperature Fail]

2) Device

- EMS2 から制御するデバイスを、登録されたDVR の名称または「システム」から選択します。「システム」はEMS2 がインストールされているPC を意味します。

3) Sub Type

- デバイスからの出力先を選択します。 例えば、デバイスが「DVR」であればカメラやアラームリレー等が、デバイスが「システム」であればウインドウや効果音等がこれに当たります

4) Sub No

- 動作装置として指定した出力先が、PTZ カメラのように複数あり、番号で識別される場合は、その番号を選択します。

5) Command

① Device>Camera

- カメラのPTZオプション、スナップショット、ライブビデオウィンドウを選択します。 スナップショットを選択するとサムネイルログが表示されます。

② Device > Digital output

- アラーム出力をトリガーしたり、トリガーを解除します。

③ Device > Buzzer

- ブザーを鳴動したり、鳴動を止めます。

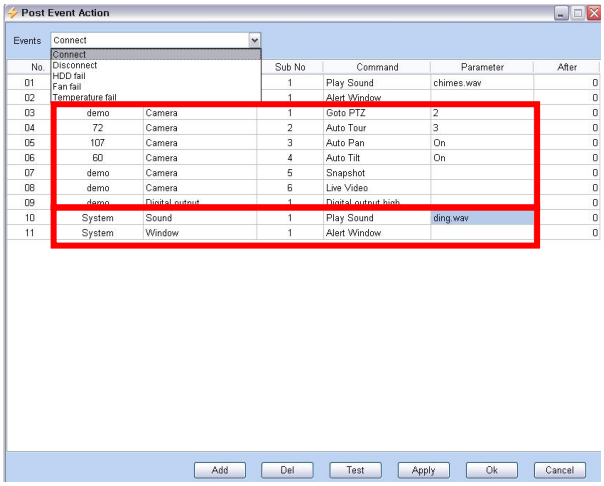
④ System> Sound

- 再生音を選択します。EMS 2は、DVRが接続、切断、HDDフェール、ファンフェイル、過熱（上記のNo. 1のイベントを選択したかどうかによって異なります）

一部の wavファイルサンプルが提供され、[C：¥ Program Files ¥ EMS 2.0 ¥ Sound]に配置されています。 独自のサウンドファイルを使用できます。

⑤ System>Window

- <Alert Window>を選択します。 メッセージウィンドウが 10秒間表示されます。



6) Parameter

① Device >Camera >Parameter

- プリセット番号のような、カメラ PTZオプション用の希望する番号を入力します。

② System> Sound

- 警告音の wavファイルを選択します。

7) After

- イベントの後、コマンドを実行するまでの遅延時間をセットします。 (単位：ミリ秒 1000=1 秒)

8) Add

- イベントに1つのアクション(リスト上の行)を追加します。 (最大25 まで入力できます)

9) Del

- 選択されたアクションを削除します。

10) Test

- 選択したアクションをテストします。

11) Apply

- 変更された値を適用します。

12) OK

- 変更された値を適用し、ウインドウを閉じます。

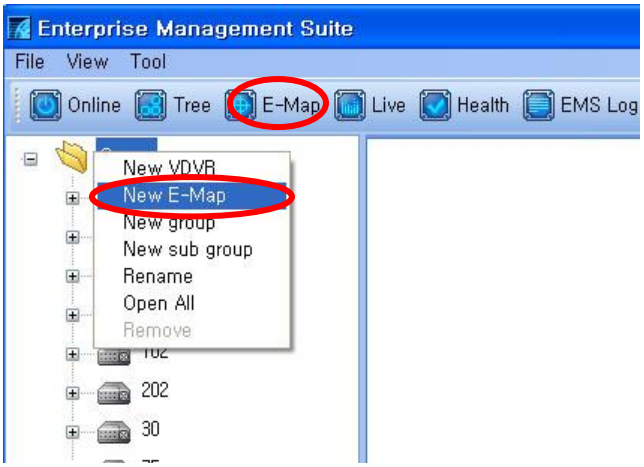
13) Cancel

- 変更された値を保存せずにウインドウを閉じます。（変更は破棄されます）

VII. E-MAP

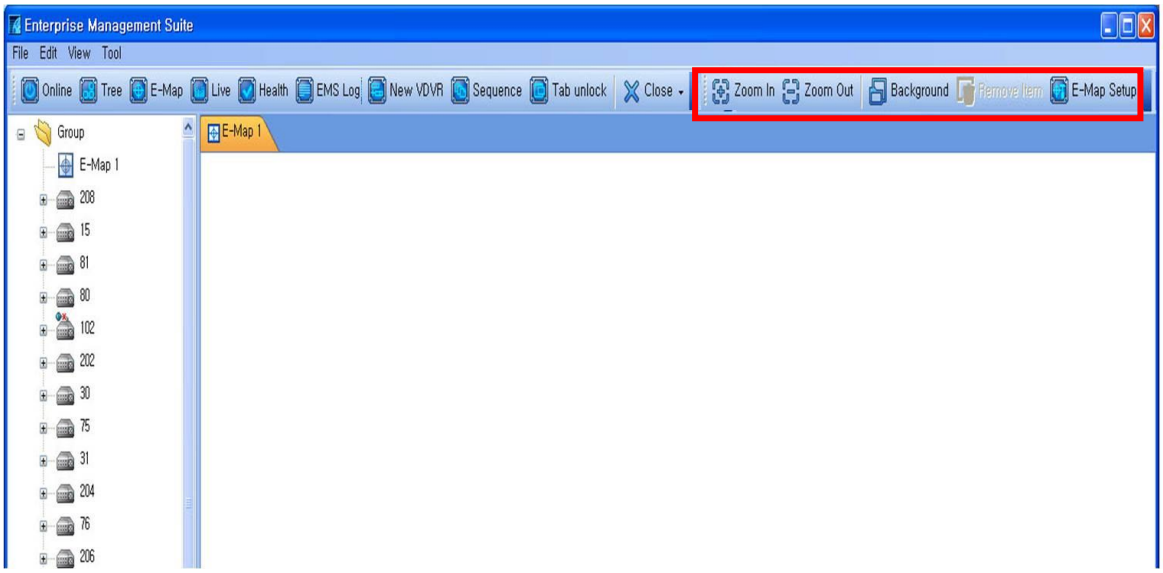
E-Mapは、地図や見取り図上に、DVR やカメラのアイコンを配置し、それらを操作することで機器やカメラの位置をわかりやすくするための仕組みです。

1. 追加



1. 次のグループを右クリックするとコンテキストメニューが画面に表示されます。 ツールバーの E-Map をクリックします。

2. E-Mapの制御ボタンが表示されます。

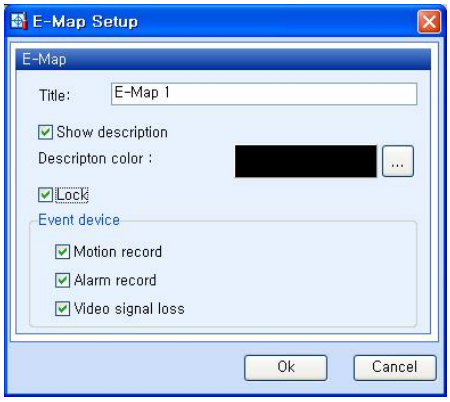


① Zoom In: E-Mapを 2段階で 400%まで拡大します。

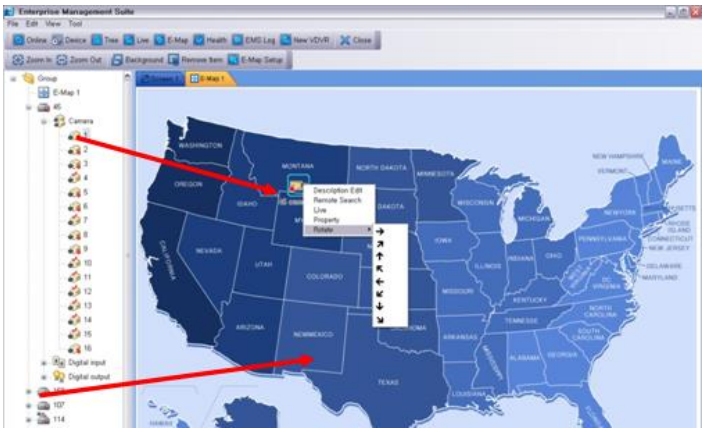
② Zoom Out: E-Mapを 2段階で 25%まで縮小します。

③ Background : 背景図として使用する図のファイルを指定します。
イメージは、[C:¥Program Files¥EMS 2.0¥EMAP¥BACKGROUND]に保存されます。

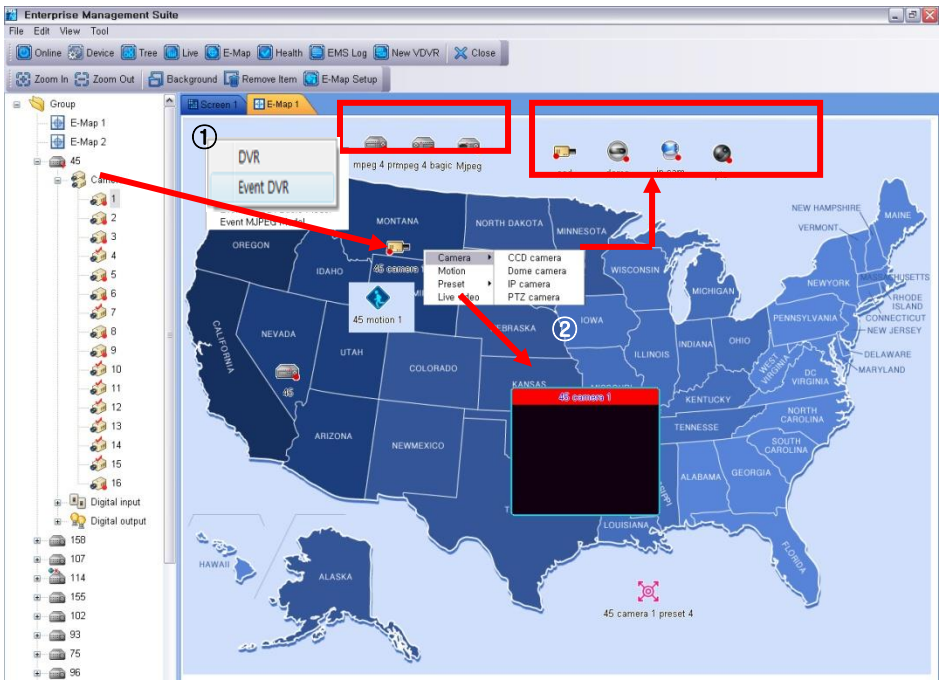
④ E-Map Setup :「E-Map 設定」ウインドウを開きます。



3. 希望の EMS2を E-mapにドラッグアンドドロップします。

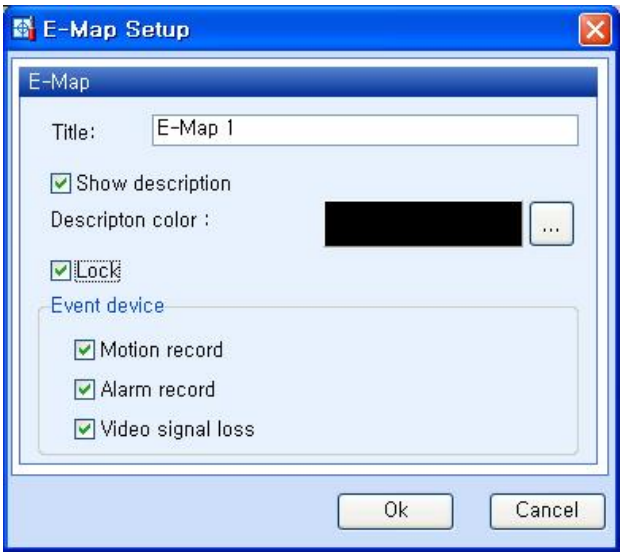


4. ツリー上で右マウスをクリックして、E-Mapにドロップします。 アイコンのイメージを選択できます。



1) E-Map 設定

E-Mapに関する設定をするには、 E-Map Setup ボタンをクリックし「E-Map Setup」ウインドウを開きます。



① Title

- 現在操作している E-Mapのタイトルを変更します。

② Show description

- DVR／NVR やカメラのタイトルを表示するか表示しないかを選択します。

③ Description color

- DVR／NVR やカメラのタイトルを表示するときの文字色を指定します。

④ Lock

- E-Mapの編集（背景図及びアイコンの追加、移動及び削除）を禁止します。

⑤ Event device

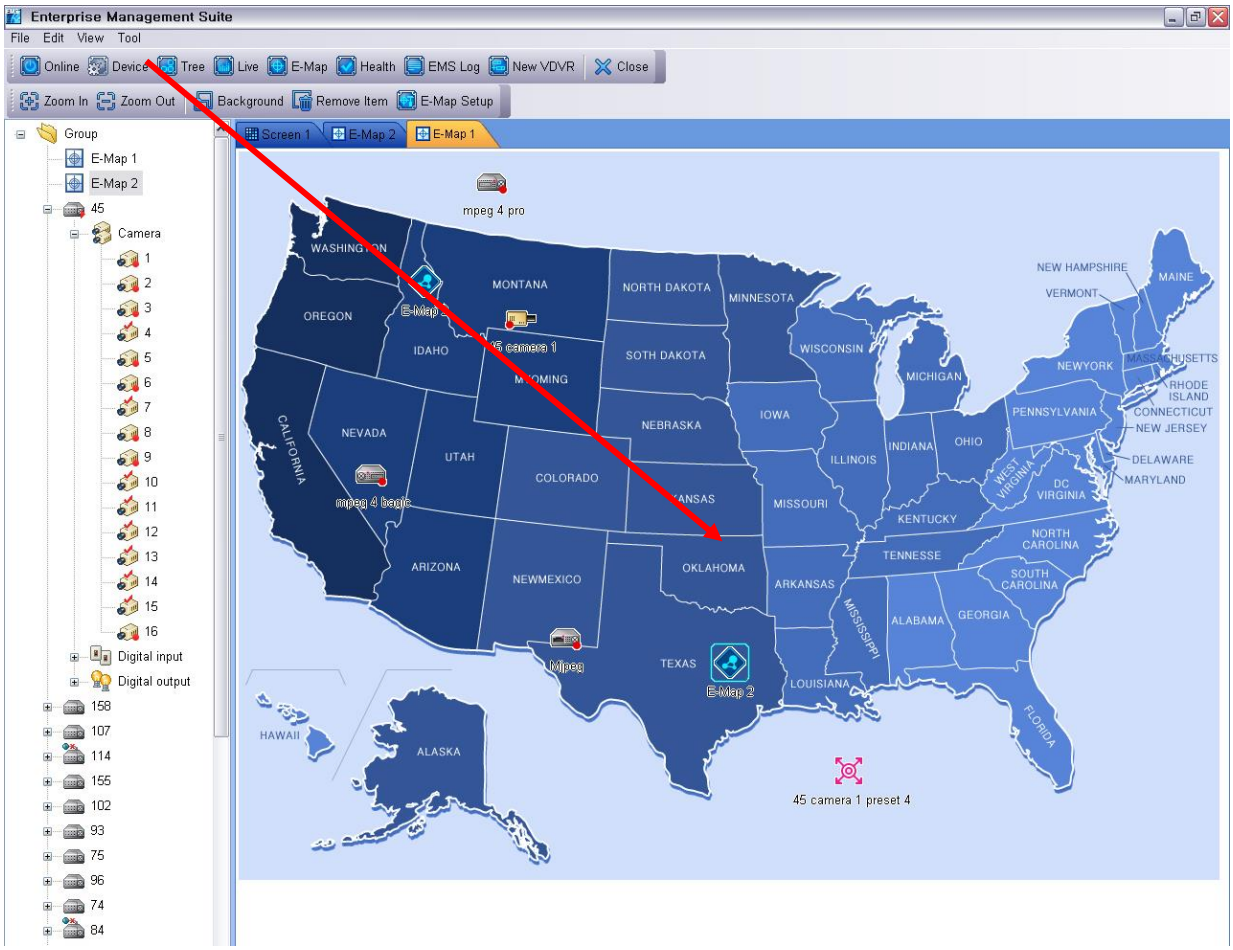
- 予定機能

2. E-Map Link

E-Map リンクとは、地図と見取図のように複数のE-Mapを関連付けるものです。

1) E-Mapリンクの作成

E-Map同士を関連付けは、メインウインドウにリンク元のE-Mapを開き、そこの適切な場所にデバイスリストからリンク先の E-Mapアイコンをドラッグ・アンド・ドロップします。



2) E-Mapリンクを利用したジャンプ

関連付けられた E-Mapを利用してジャンプする場合は、E-Mapのメインウインドウ内にあるアイコンをダブルクリックします。

3) E-Mapでのイベント表示

デバイスが登録された E-Mapがリンクされているリンク元の E-Mapで、リンク先の E-Map内のデバイスのイベントによってリンク元にあるアイコンを点滅表示させることが出来ます。

<Memo>